

令和4年度
ヒヤリ・ハット調査
「公園等で使用するスポーツ用品
(車輪のあるもの) による子供の危険」
調査報告書

令和5年6月
東京都生活文化スポーツ局

目次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査対象者及び調査方法等.....	1
3. 集計・分析にあたって.....	2
4. 自由記述の分類について.....	2
II. 調査結果	3
1. 回答者の基本情報.....	3
(1) 居住地.....	3
(2) 性別.....	3
(3) 年代.....	4
(4) 子供の人数.....	4
(5) 子供の年齢・性別.....	5
(6) 子供が所有している車輪付きスポーツ用品（複数回答）.....	6
(7) 車輪付きスポーツ用品の購入場所.....	7
(8) 保護具の着用（複数回答）.....	9
2. 車輪付きスポーツ用品でのけが及びヒヤリ・ハット経験（全体傾向）.....	10
(1) けが及びヒヤリ・ハット経験の有無（全体）.....	10
(2) けが及びヒヤリ・ハット経験の有無（製品類別）.....	11
(3) けが及びヒヤリ・ハット経験時の年齢・性別（全体）.....	12
(4) 年齢別のけが及びヒヤリ・ハット経験した製品（全体・上位3位）.....	14
(5) 年齢別のけが及びヒヤリ・ハット経験した時の事故の状況（全体・上位3位）.....	15
(6) 車輪付きスポーツ用品でのけがの状況.....	16
(7) 車輪付きスポーツ用品でのけがの程度（年齢・性別）.....	17
(8) 車輪付きスポーツ用品でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所.....	19
3. 自転車類に関するけが及びヒヤリ・ハット経験.....	20
(1) 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験.....	20
(2) 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）.....	21
(3) 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（製品別）.....	22
(4) 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（性・年齢別）.....	23
(5) 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の事故状況（製品別）.....	26
(6) 自転車類での詳細事例（抜粋）.....	27
4. キックスケーター類に関するけが及びヒヤリ・ハット経験.....	29
(1) キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験.....	29

(2)	キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）	30
(3)	キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（製品別）	31
(4)	キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（性・年齢別） ...	32
(5)	キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の事故状況（製品別）	34
(6)	キックスケーター類での詳細事例（抜粋）	35
5.	スケートボード類に関するけが及びヒヤリ・ハット経験	36
(1)	スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験	36
(2)	スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）	37
(3)	スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（製品別）	38
(4)	スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（性・年齢別）	39
(5)	スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の事故状況（製品別）	41
(6)	スケートボード類での詳細事例（抜粋）	42
6.	ローラースケート類に関するけが及びヒヤリ・ハット経験	43
(1)	ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験.....	43
(2)	ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）	44
(3)	ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（製品別）	45
(4)	ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（性・年齢別） ...	46
(5)	ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の事故状況（製品別）	47
(6)	ローラースケート類での詳細事例（抜粋）	48
7.	けが及びヒヤリ・ハット経験の報告・相談	49
(1)	けが及びヒヤリ・ハット経験の報告相談（複数回答）	49
8.	車輪付きスポーツ用品購入前の確認事項	50
(1)	車輪付きスポーツ用品購入前の確認事項（複数回答）	50
9.	車輪付きスポーツ用品使用前の注意	51
(1)	車輪付きスポーツ用品使用前の注意（複数回答）	51
10.	子供のけがや事故を防ぐための工夫	52
(1)	子供のけがや事故を防ぐための工夫	52
(2)	子供のけがや事故を防ぐための工夫（自由回答の抜粋）	53
11.	公園でのヒヤリ・ハット経験	56
(1)	公園でのヒヤリ・ハット経験.....	56
(2)	公園でのヒヤリ・ハット経験（自由回答の抜粋）	57
III	まとめ	60
IV.	アンケート調査内容	61

I. 調査概要

1. 調査の目的

公園等で使用するスポーツ用品（車輪のあるもの）による子供の危害（けが）及びヒヤリ・ハット経験等を収集することを目的に実施した。

2. 調査対象者及び調査方法等

(1) 調査対象者

一都三県（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）に在住¹で、1歳から12歳（小学生以下）までの子供と同居する20歳以上の保護者

調査対象者と同居する子供の年齢・性別区分における合計数は、下表の通りとする。

年齢 (歳)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
男児	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125
女児	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125

*12歳は小学生以下とする。

(2) 回答者数

3,000人

(3) 調査実施方法

インターネットアンケート

(4) 調査期間

令和4年12月21日～12月29日（計9日間）

(5) 調査項目

公園等で使用するスポーツ用品（車輪のあるもの）による子供のヒヤリ・ハット経験に関して、5項目の製品類²別に、以下の設問で調査を実施した。

- ・ 製品の所有の有無
- ・ 製品の入手・購入方法
- ・ 使用時の保護具の有無
- ・ けが及びヒヤリ・ハット経験の有無
- ・ けが程度
- ・ 医療機関への受診
- ・ 経験時の相談先
- ・ 経験時の子供の年齢・性別
- ・ 経験した場所
- ・ 経験した製品の詳細（形状・種類）
- ・ けが及びヒヤリ・ハット経験の詳細
- ・ 購入前に確認していること
- ・ 使用する際の注意事項や保護具着用について伝えているか
- ・ 子供のけがや事故を防ぐために工夫していること
- ・ 公園で子供が遊んでいる時の、けがやヒヤリ・ハット経験（スポーツ用品に関わらず）

¹ 調査は主に東京都在住者を対象として実施し、不足する部分について神奈川県、埼玉県、千葉県在住者にて補完した。

² 自転車類、キックスクーター類、スケートボード類、ローラーズケート類、その他（上記以外の車輪のある製品）

3. 集計・分析にあたって

- ・ 回答比率 (%)は、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても、100%にならない場合がある。
- ・ 設問によっては、複数回答の結果、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- ・ グラフに表記される「N=*」「n=*」(*は数字)は、対象の母数を表している。なお、Nはグラフ全体の母数、nは各項目の母数を表す。
- ・ グラフや表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、アンケート調査票の文章とは一致していない場合がある。(アンケート調査票上の文言は「IV. アンケート調査内容」を参照。)
- ・ 集計単位(件数、人数)については、事例に関する記載においては「件」、人数に関する記載においては「人」で統一している。

4. 自由記述の分類について

(1) 全体

回答を分類する際は、原則として回答者の申告を採用した。回答者によって分類が異なる場合は下記の条件で分類を統一した。

ア 自転車、スケートボード等に人が乗っている場合は「人にぶつかった」と分類。自動車のみ「物にぶつかった」と分類。

イ ころんだり、滑ったり、ぶつかったりした要因が「段差」である場合は「段差に引っかかった」に分類。

(2) 製品の分類について

原則として、子供がけがやヒヤリ・ハット経験をした製品を採用した。

(3) 事例の分類について

複数の事象が混在した回答は、原則としてけが及びヒヤリ・ハット経験において危険の大きいものに分類した。

II. 調査結果

1. 回答者の基本情報

(1) 居住地

居住地は「東京都」が99.3%、「その他近県」が0.7%となっている。具体的には埼玉県と千葉県が各6名（各0.2%）、神奈川県が10名（0.3%）である。

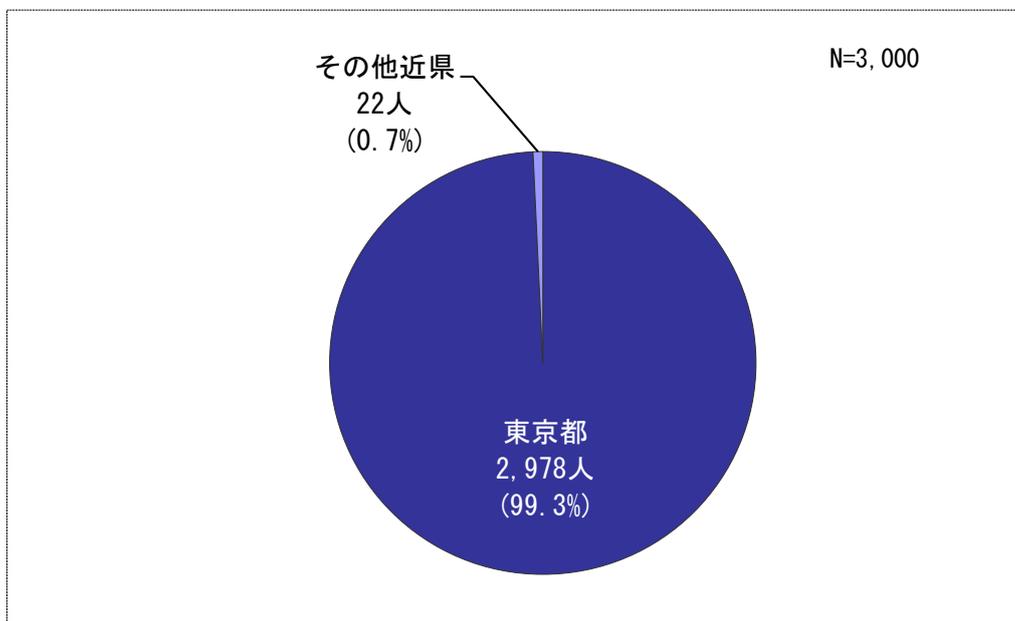


図 1_1. 居住地

(2) 性別

性別は、「男性」47.9%、「女性」51.6%となっている。なお、「回答したくない」は0.4%、「その他」は0.1%であった。

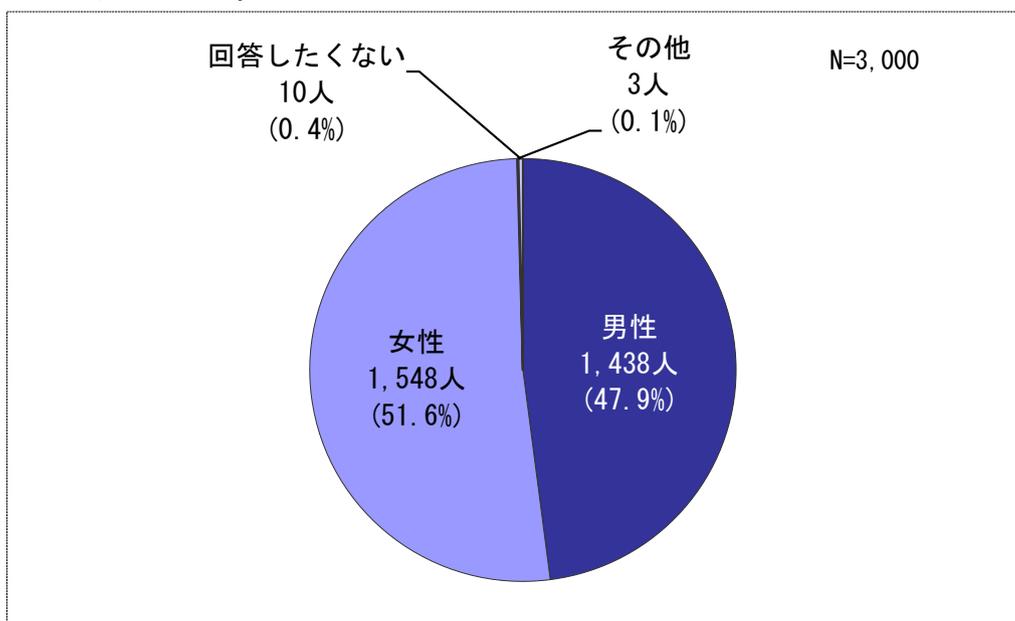


図 1_2. 性別

(3) 年代

年代は、「20歳代」5.7%、「30歳代」34.9%、「40歳代」49.0%、「50歳代」10.4%となっている。

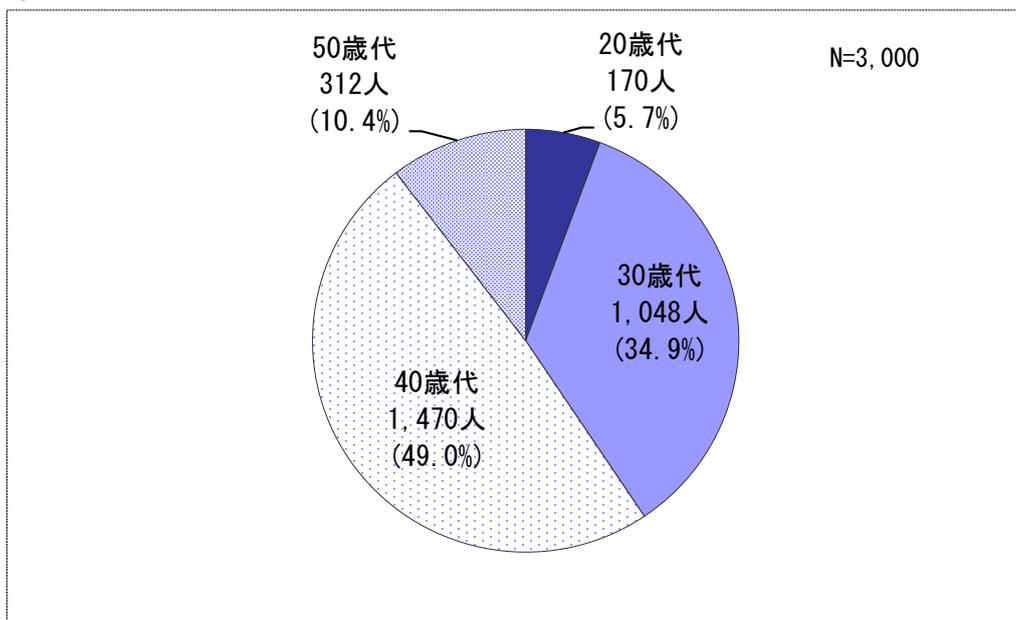


図 1_3. 年代別

(4) 子供の人数

子供の人数は、「1人」36.4%、「2人」49.0%、「3人」12.6%、「4人以上」2.0%となっている。

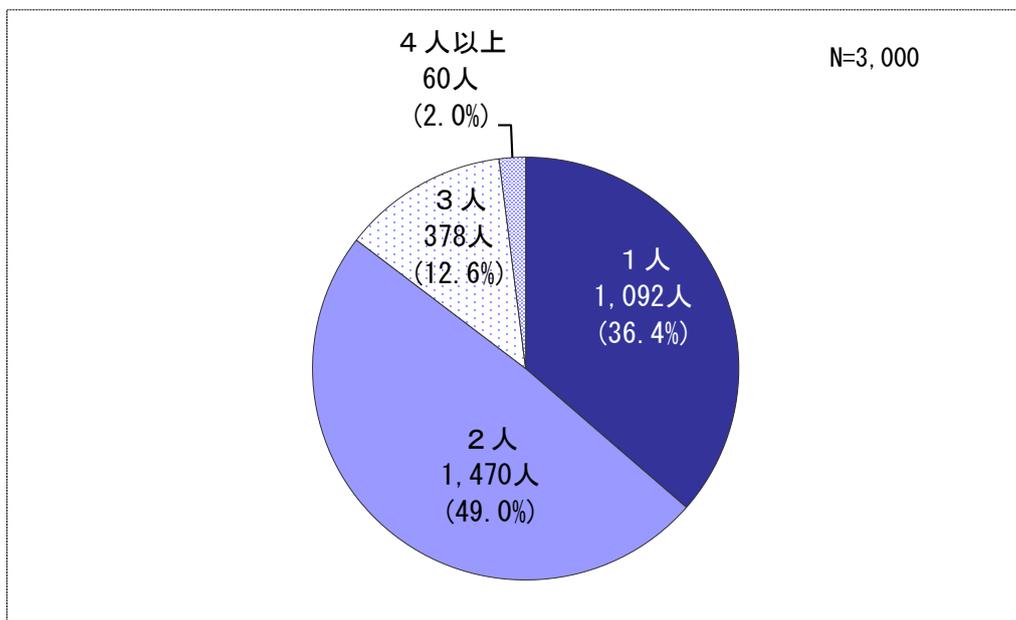


図 1_4. 子供の人数

(5) 子供の年齢・性別

回答者の子供（複数回答）の年齢・性別³の割合を図1_5に示す。「13歳以上」が22.2%と最も多く、次いで「11歳」が14.6%、「9歳」が14.3%となっている。

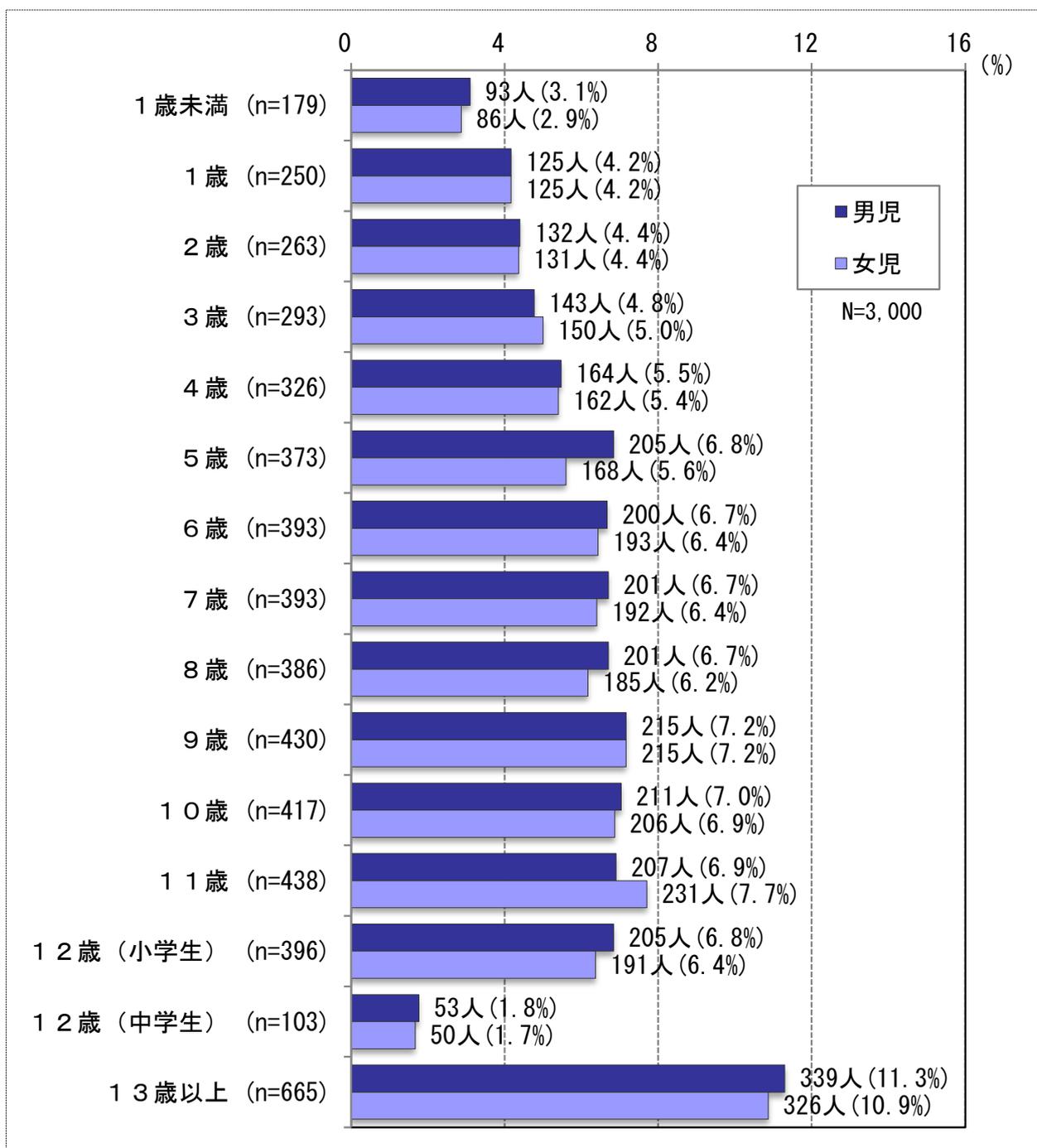


図1_5. 子供の年齢・性別【複数回答】

³ 本調査の調査対象は1歳から12歳（小学生以下）であるが、1. 回答者の基本情報においては、子供を複数回答としていることから、兄弟姉妹（1歳未満及び12歳の中学生以上）の人数についても含まれる。2. 車輪付きスポーツ用品でのけが及びヒヤリ・ハット経験以降の調査においては、1歳から12歳（小学生以下）を対象としてアンケートを実施している。

(6) 子供が所有している車輪付きスポーツ用品（複数回答）

回答者の子供が所有している車輪付きスポーツ用品の割合を図 1_6 に示す。大分類では「自転車類」が 80.2%と最も多く、次いで「キックスケーター類」が 26.0%、「スケートボード類」が 18.9%となっている。

製品別に見ると、自転車類では「自転車」が 80.5%と最も多く、次いで「ペダル無し二輪遊具」が 21.4%となっている。キックスケーター類では「二輪式」が 83.2%と最も多く、次いで「三輪式」が 21.2%となっている。スケートボード類では「キャスターボード」が 71.5%と最も多く、次いで「スケートボード」が 38.7%となっている。ローラースケート類では「インラインスケート」が 59.9%と最も多く、次いで「ローラースケート」が 46.9%となっている。

一方、車輪付きスポーツ用品を所有していない（「上記にあてはまるものはない」選択）回答者は 17.7%であった。

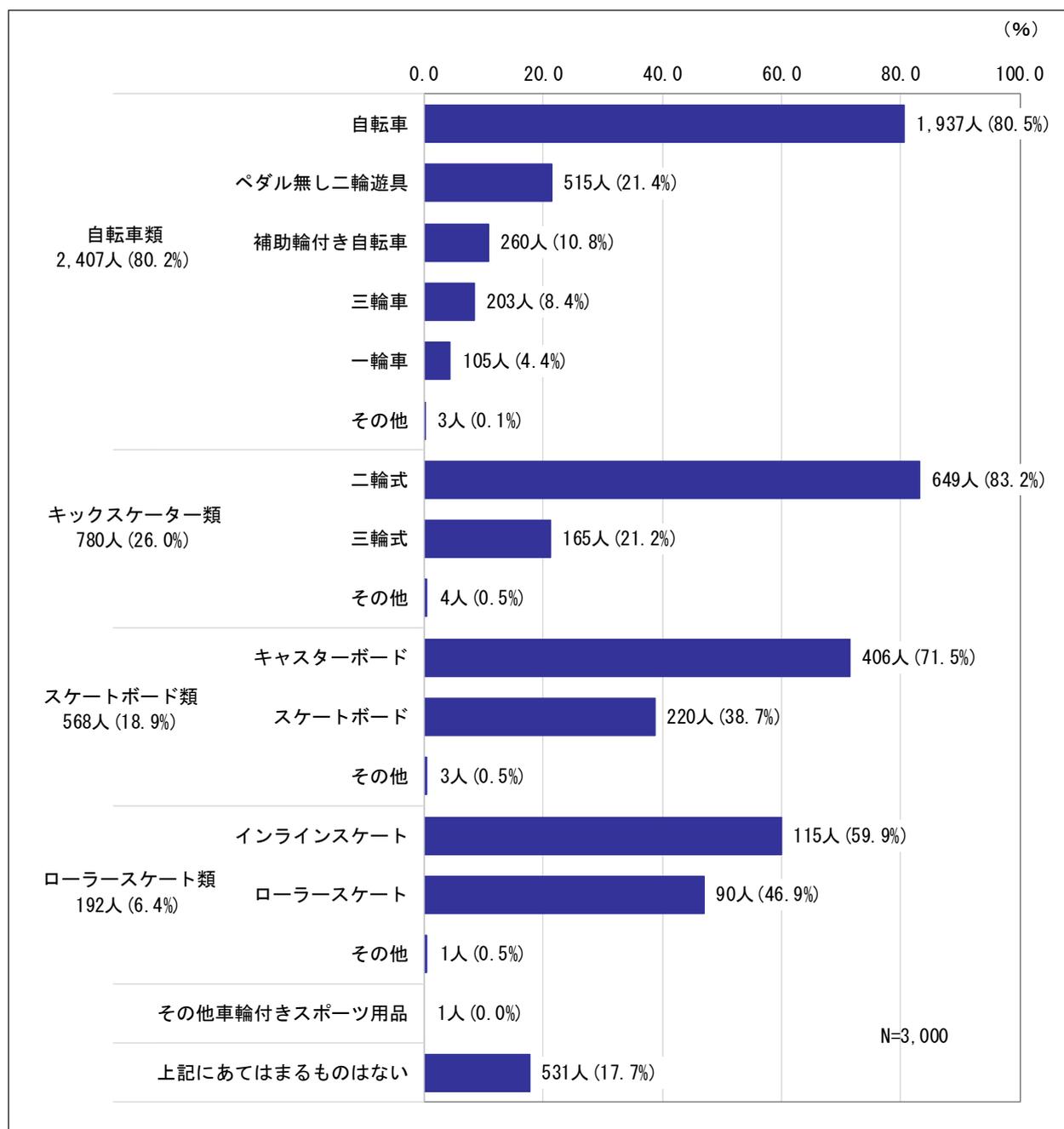


図 1_6. 子供が所有している車輪付きスポーツ用品

(7) 車輪付きスポーツ用品の購入場所

所有している自転車類について購入場所の割合を図 1_7_1 に示す。「実店舗」での購入が 84.3%、「インターネット通販」が 11.5%となっている。内訳をみると、「自転車専門店」が 63.1%と最も多く、次いで「総合インターネットモール⁴」が 9.8%となっている。

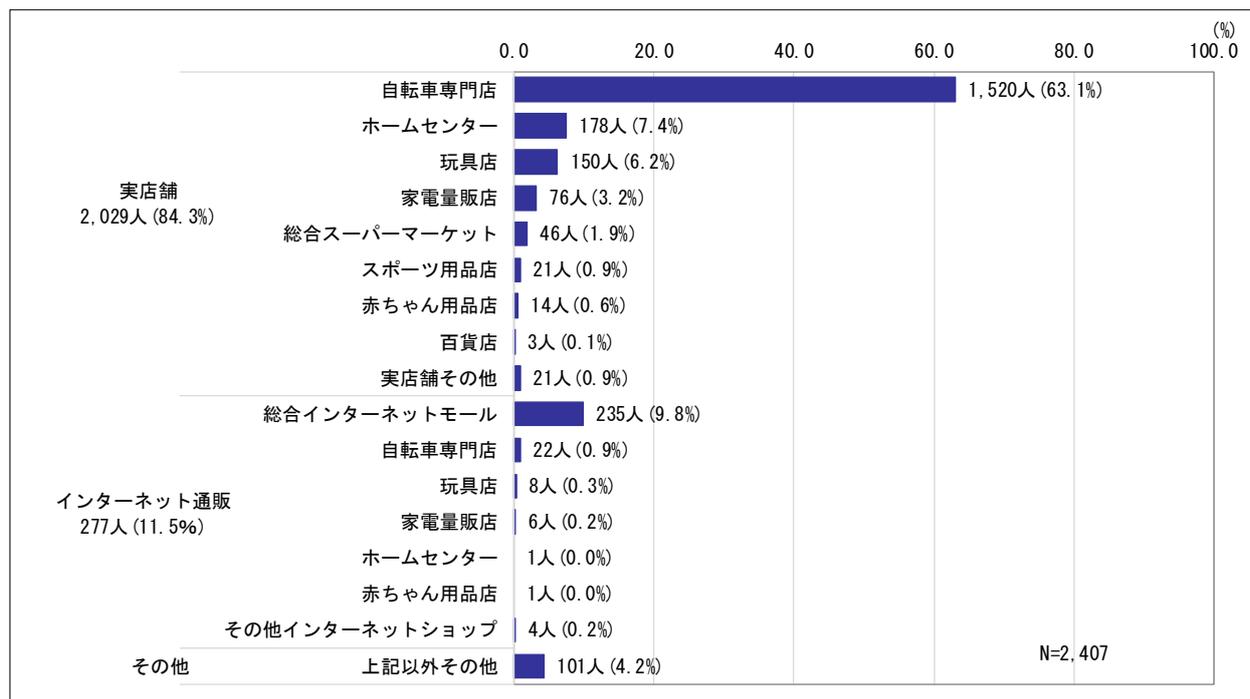


図 1_7_1. 車輪付きスポーツ用品（自転車類）の購入場所

所有しているキックスケーター類について購入場所の割合を図 1_7_2 に示す。「実店舗」での購入が 58.8%、「インターネット通販」が 34.9%となっている。内訳をみると、「総合インターネットモール」が 31.7%と最も多く、次いで実店舗の「玩具店」が 22.6%となっている。

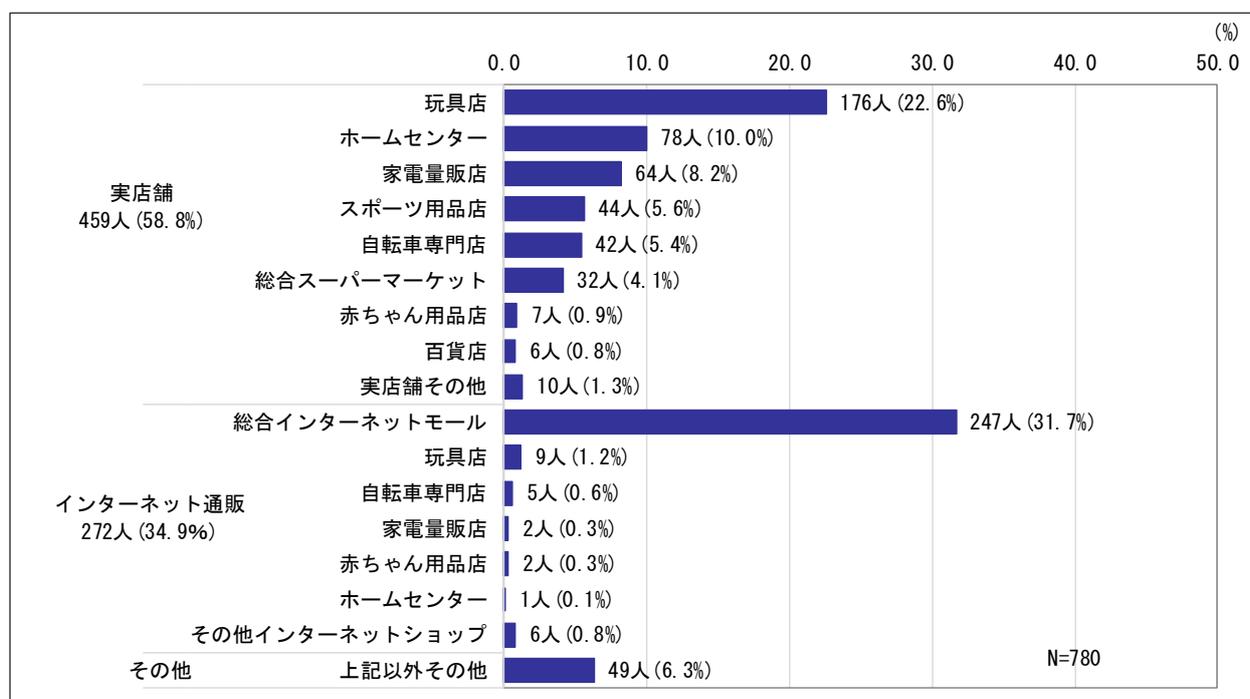


図 1_7_2. 車輪付きスポーツ用品（キックスケーター類）の購入場所

⁴ Amazon、楽天市場、Yahoo ショッピング等

所有しているスケートボード類について購入場所の割合を図 1_7_3 に示す。「実店舗」での購入が 59.5%、「インターネット通販」が 37.5%となっている。内訳をみると、「総合インターネットモール」が 34.9%と最も多く、次いで実店舗の「玩具店」が 19.2%となっている。

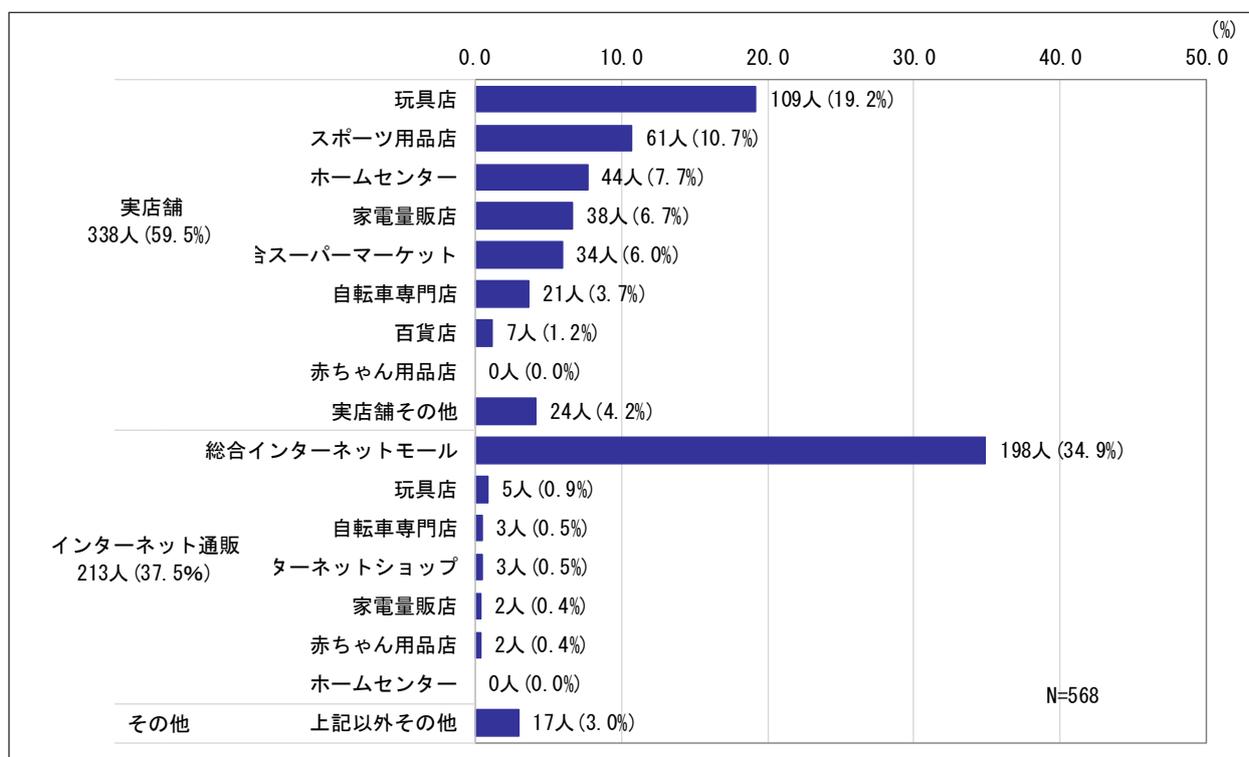


図 1_7_3. 車輪付きスポーツ用品（スケートボード類）の購入場所

所有しているローラースケート類について購入場所の割合を図 1_7_4 に示す。「実店舗」での購入が 62.0%、「インターネット通販」が 34.4%となっている。内訳をみると、「総合インターネットモール」が 31.3%と最も多く、次いで実店舗の「玩具店」が 22.4%となっている。

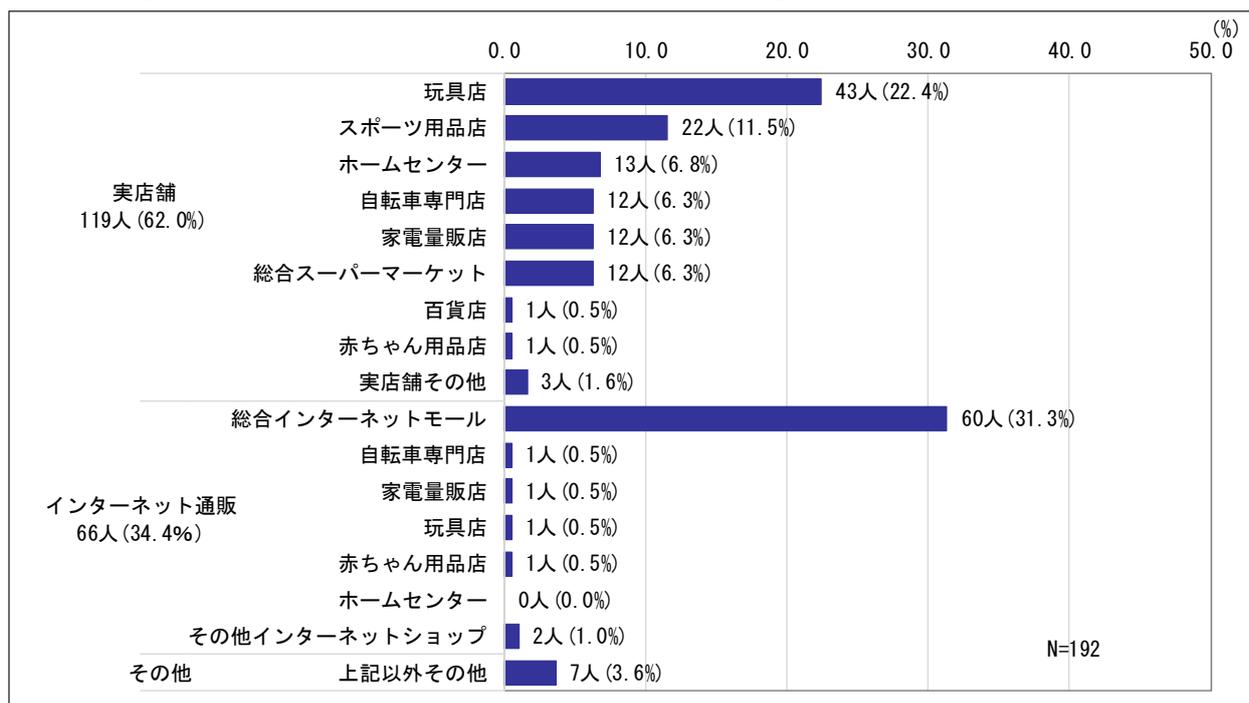


図 1_7_4. 車輪付きスポーツ用品（ローラースケート類）の購入場所

(8) 保護具の着用（複数回答）

所有している車輪付きスポーツ用品を使用する際の保護具の着用割合を図 1-8 に示す。自転車類では「ヘルメット」が 65.1%と最も多く、次いで「保護具を付けていない」が 34.4%となっている。

キックスクーター類では「保護具を付けていない」が 63.7%と最も多く、次いで「ヘルメット」が 34.4%となっている。

スケートボード類では「保護具を付けていない」が 54.9%と最も多く、次いで「ヘルメット」が 42.3%となっている。

ローラースケート類では「ヘルメット」が 64.6%と最も多く、次いで「プロテクター（ひざ）」が 58.9%、「プロテクター（ひじ）」が 55.2%となっている。

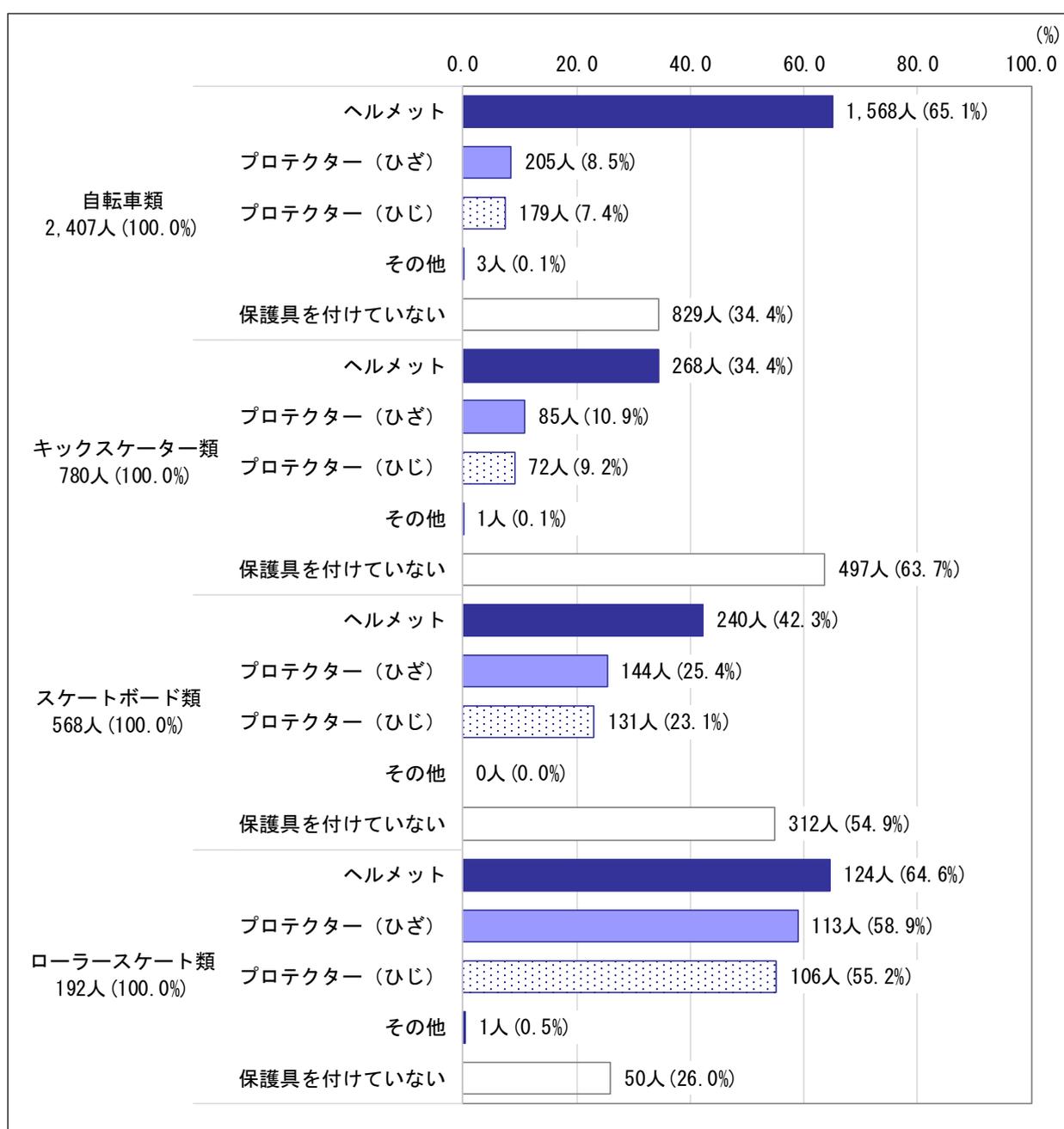


図 1_8. 車輪付きスポーツ用品使用時の保護具着用状況

2. 車輪付きスポーツ用品でのけが及びヒヤリ・ハット経験（全体傾向）

（1）けが及びヒヤリ・ハット経験の有無（全体）

図 2_1 は子供の車輪付きスポーツ用品に関するけが及びヒヤリ・ハット経験について、5項目全体での経験割合を示している。何らかの“けが及びヒヤリ・ハット経験がある”（「けがをしたことがある」＋「けがをしそうになってヒヤリとしたことがある」）と回答した人は1,347人(44.9%)となった。そのうち、けがをしたことがある子供は732人(24.4%)となっている。

“けが及びヒヤリ・ハット経験はない”回答者は1,653人(55.1%)となり5割を超えている。そのうち、「経験はないが危ないと感じている」割合は33.5%、「経験はなく、特に危ないとも思わない」割合は21.6%となっている。

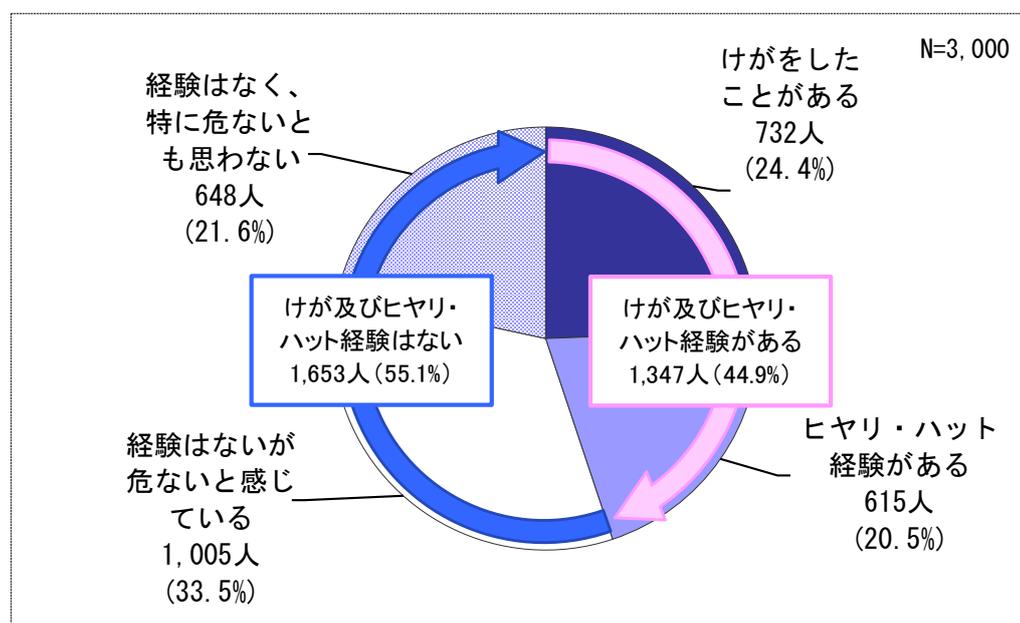


図 2_1. 車輪付きスポーツ用品でのけが及びヒヤリ・ハット経験【全体】

[注1] “ヒヤリ・ハット経験がある”は「けがをしそうになってヒヤリとしたことがある」との回答数を示す。

[注2] “けが及びヒヤリ・ハット経験はない”は子供が車輪付きスポーツ用品（自転車類、キックスクーター類、スケートボード類、ローラースケート類、その他車輪付きスポーツ用品）で「けがをしたりヒヤリとした経験はないが危ないと感じている」、「けがをしたりヒヤリとした経験はなく、特に危ないとも思わない」との回答数を示す。

[注3] 回答者が複数のけが及びヒヤリ・ハットを経験している場合、よりけがが程度の高い方を集計対象とする。

[注4] 車輪付きスポーツ用品を所有していない回答者を含む。

(2) けが及びヒヤリ・ハット経験の有無（製品類別）

図 2_2 は本調査で収集した、けが及びヒヤリ・ハット経験を製品類別に集計した割合を示している。「自転車類」はけが及びヒヤリ・ハットを経験した割合（「けがをしたことがある」+「ヒヤリ・ハット経験がある」）が 40.9%と最も高く、次いで「キックスケーター類」が 15.0%、「スケートボード類」が 11.6%となっている。

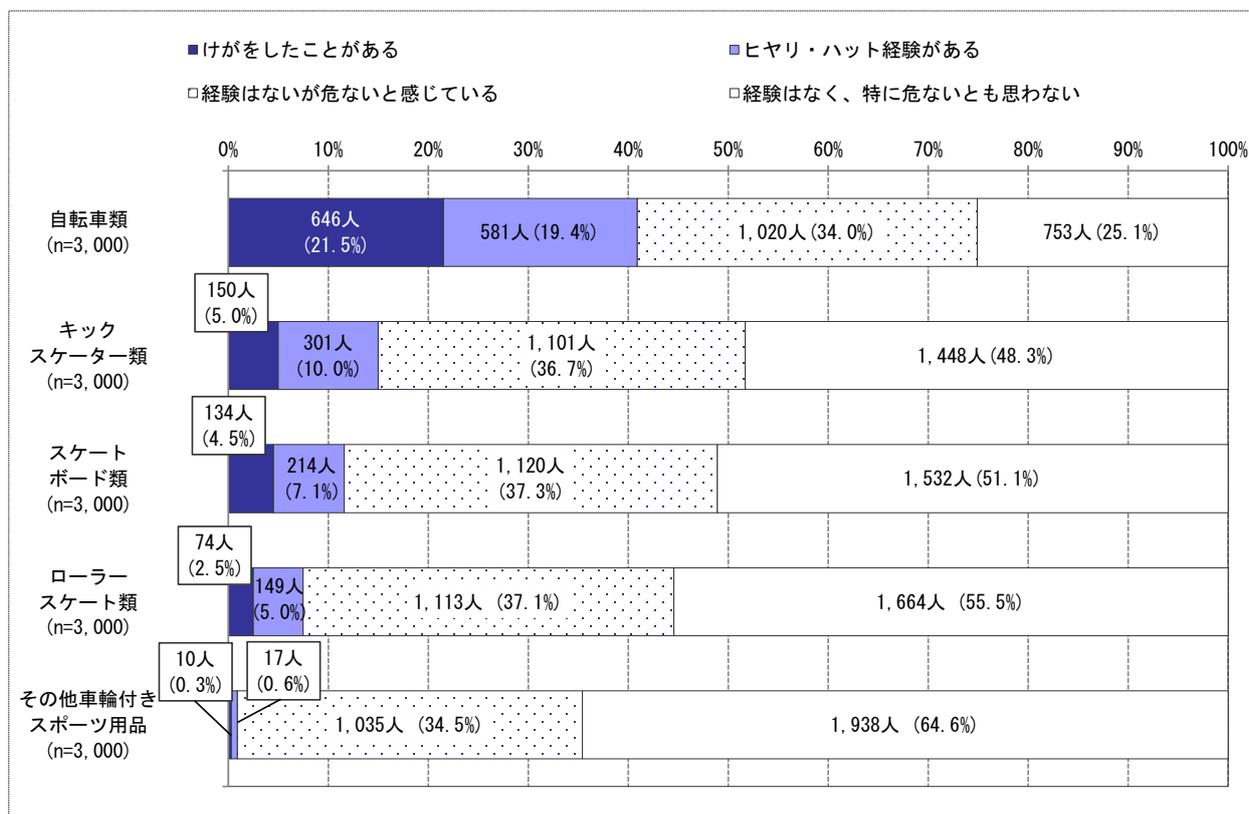


図 2_2. 車輪付きスポーツ用品でのけが及びヒヤリ・ハット経験〔製品類別〕

(3) けが及びヒヤリ・ハット経験時の年齢・性別（全体）

表 2_1 は子供の車輪付きスポーツ用品に関するけが及びヒヤリ・ハット経験について、子供の年齢・性別の事例数を集計した結果である。

年齢別に見ると「6歳」が377件（けがをしたことがある：169件、けがをしそうになってヒヤリとしたことがある：208件）で最も多く、次いで「5歳」が338件（けがをしたことがある：161件、けがをしそうになってヒヤリとしたことがある：177件）、「7歳」が304件（けがをしたことがある：132件、けがをしそうになってヒヤリとしたことがある：172件）となっている。

(件)

	合計	男児	女児	年齢別(男女計)											
				1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳 小学生
自転車類	1,227	685	542	16	52	114	146	197	212	135	145	97	70	34	9
けがをしたことがある	646	364	282	9	21	57	67	107	105	73	83	54	43	18	9
けがをしそうになってヒヤリとしたことがある	581	321	260	7	31	57	79	90	107	62	62	43	27	16	0
キックスケーター類	451	219	232	9	13	48	62	75	74	55	53	28	19	11	4
けがをしたことがある	150	66	84	2	4	16	16	29	29	14	16	9	6	7	2
けがをしそうになってヒヤリとしたことがある	301	153	148	7	9	32	46	46	45	41	37	19	13	4	2
スケートボード類	348	179	169	8	11	17	24	34	49	73	61	29	27	9	6
けがをしたことがある	134	70	64	3	1	5	4	13	22	28	28	13	11	2	4
けがをしそうになってヒヤリとしたことがある	214	109	105	5	10	12	20	21	27	45	33	16	16	7	2
ローラースケート類	223	98	125	2	8	10	18	29	38	38	31	24	18	3	4
けがをしたことがある	74	31	43	1	1	3	5	10	12	14	13	5	7	1	2
けがをしそうになってヒヤリとしたことがある	149	67	82	1	7	7	13	19	26	24	18	19	11	2	2
その他車輪付きスポーツ用品	27	15	12	2	3	7	2	3	4	3	1	1	1	0	0
けがをしたことがある	10	4	6	0	0	3	1	2	1	3	0	0	0	0	0
けがをしそうになってヒヤリとしたことがある	17	11	6	2	3	4	1	1	3	0	1	1	1	0	0
【合計】	2,276	1,196	1,080	37	87	196	252	338	377	304	291	179	135	57	23
けがをしたことがある	1,014	535	479	15	27	84	93	161	169	132	140	81	67	28	17
けがをしそうになってヒヤリとしたことがある	1,262	661	601	22	60	112	159	177	208	172	151	98	68	29	6

表 2_1. けが及びヒヤリ・ハット経験〔子供の性・年齢別〕

図 2_3 は、表 2_1 に示した子供の車輪付きスポーツ用品に関するけが及びヒヤリ・ハット経験時の年齢を示している。6 歳まで徐々に増加し、その後年齢が上がるにつれてけがやヒヤリ・ハット経験の件数は減少していく。

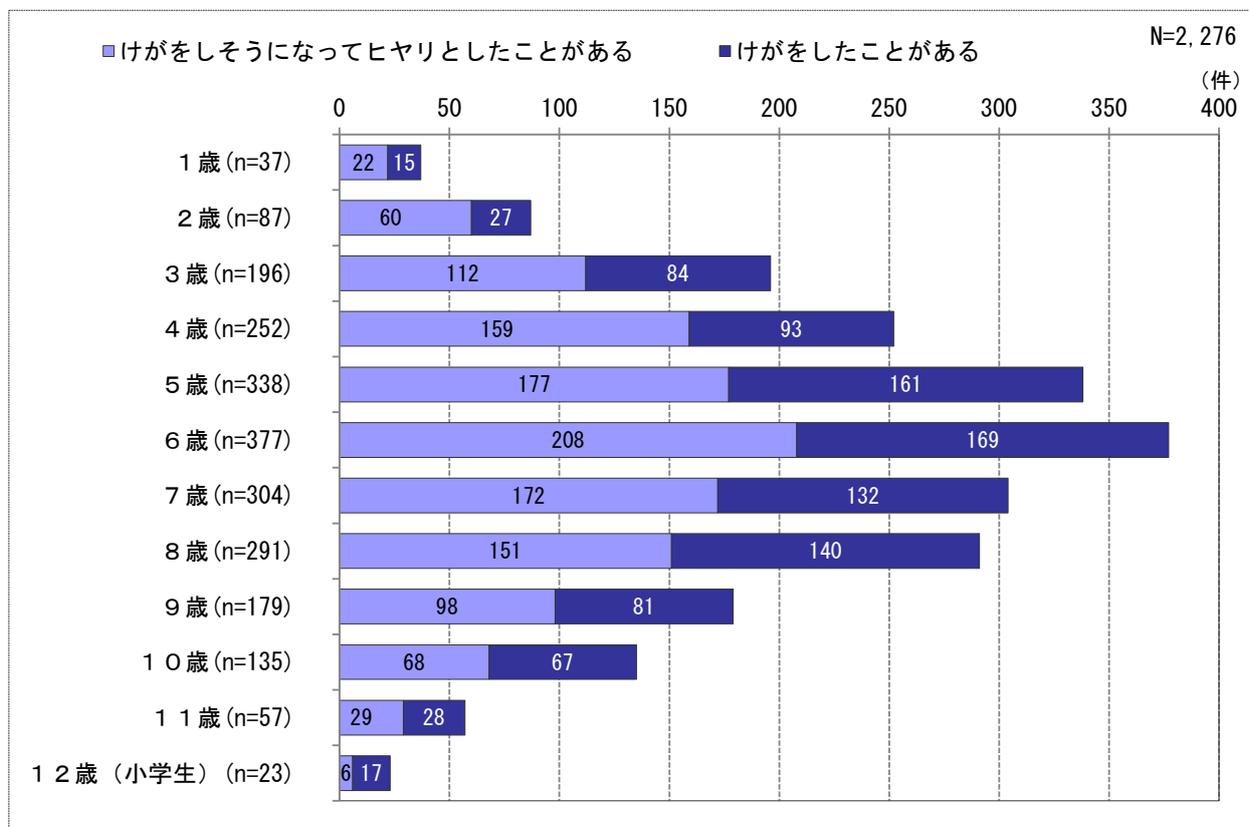


図 2_3. けが及びヒヤリ・ハット経験時の年齢〔全体〕

図 2_4 は、表 2_1 に示した男女分布を示している。本調査では延べ 2,276 件の回答が得られたが、そのうち、男児の事例が 1,196 件、女児の事例が 1,080 件となっている。

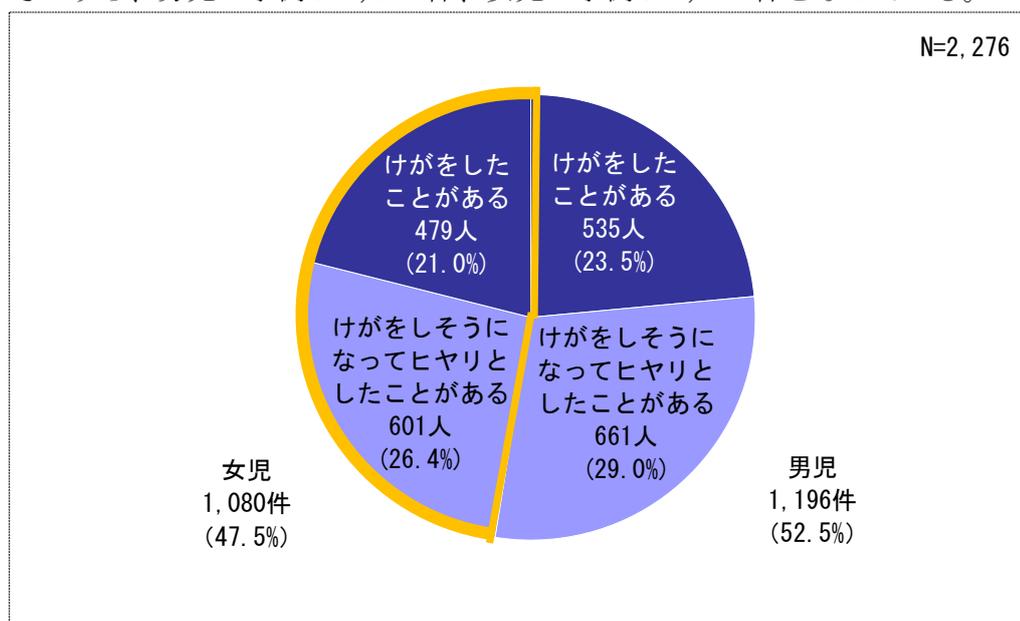


図 2_4. けが及びヒヤリ・ハット経験時の性別〔全体〕

(4) 年齢別のけが及びヒヤリ・ハット経験した製品（全体・上位3位）

表 2_2 はけが及びヒヤリ・ハット経験をした際の車輪付きスポーツ用品について年齢別に事例数を集計した結果である。年齢毎に事例の多い製品を3位まで掲載している⁵。

2歳と3歳では「ペダル無し二輪遊具」での事例が最も多く、4歳から11歳では「子供用自転車（補助輪なし）⁶」の事例が最も多くなっている。

【1歳】			【2歳】			【3歳】		
順位	事例	件	順位	事例	件	順位	事例	件
1	二輪式キックスケーター	8	1	ペダル無し二輪遊具	24	1	ペダル無し二輪遊具	42
2	子供用自転車（補助輪なし）	6	2	子供用自転車（補助輪なし）	10	2	子供用自転車（補助輪なし）	36
2	スケートボード	6	3	二輪式キックスケーター	9	3	二輪式キックスケーター	33
	事例総数	37		事例総数	87		事例総数	196
【4歳】			【5歳】			【6歳】		
順位	事例	件	順位	事例	件	順位	事例	件
1	子供用自転車（補助輪なし）	82	1	子供用自転車（補助輪なし）	144	1	子供用自転車（補助輪なし）	169
2	二輪式キックスケーター	54	2	二輪式キックスケーター	57	2	二輪式キックスケーター	70
3	ペダル無し二輪遊具	35	3	ローラースケート	23	3	スケートボード	25
	事例総数	252		事例総数	338		事例総数	377
【7歳】			【8歳】			【9歳】		
順位	事例	件	順位	事例	件	順位	事例	件
1	子供用自転車（補助輪なし）	108	1	子供用自転車（補助輪なし）	100	1	子供用自転車（補助輪なし）	61
2	二輪式キックスケーター	51	2	二輪式キックスケーター	47	2	自転車	29
2	キャスターボード	51	3	自転車	39	3	二輪式キックスケーター	25
	事例総数	304		事例総数	291		事例総数	179
【10歳】			【11歳】			【12歳（小学生）】		
順位	事例	件	順位	事例	件	順位	事例	件
1	子供用自転車（補助輪なし）	43	1	子供用自転車（補助輪なし）	19	1	自転車	6
2	自転車	23	2	自転車	14	2	スケートボード	4
3	二輪式キックスケーター	18	3	二輪式キックスケーター	10	3	二輪式キックスケーター	3
	事例総数	135		事例総数	57	3	ローラースケート	3
							事例総数	23

表 2_2. 年齢別のけが及びヒヤリ・ハット経験した製品（全体・上位3位）

⁵ 周りの人が使用していた時に巻き込まれた事例を含めた集計のため、本人が使用していない製品が上位となる場合がある。

⁶ けが及びヒヤリ・ハット経験の詳細事例に関する自転車の製品名称については、「子供用自転車（補助輪なし）」「補助輪付き自転車」「自転車」の3製品に分類して回答を得ている。

(5) 年齢別のけが及びヒヤリ・ハット経験した時の事故の状況（全体・上位3位）

表 2_3 はけが及びヒヤリ・ハット経験をした時の事故状況について、子供の年齢別に事例数を集計した結果である。年齢毎に事例の多い事故状況を3位まで掲載している。

1歳から12歳までどの年齢においても「ころんだ・すべった」が最も多くなっている。

【1歳】			【2歳】			【3歳】		
順位	事例	件	順位	事例	件	順位	事例	件
1	ころんだ・すべった	19	1	ころんだ・すべった	50	1	ころんだ・すべった	118
2	物にぶつかった	5	2	物にぶつかった	13	2	段差にひっかかった	28
2	人にぶつかった	5	3	人にぶつかった	6	3	物にぶつかった	16
	事例総数	37	3	段差にひっかかった	6		事例総数	196
				事例総数	87			

【4歳】			【5歳】			【6歳】		
順位	事例	件	順位	事例	件	順位	事例	件
1	ころんだ・すべった	154	1	ころんだ・すべった	209	1	ころんだ・すべった	232
2	物にぶつかった	42	2	段差にひっかかった	46	2	段差にひっかかった	52
3	段差にひっかかった	23	3	物にぶつかった	43	3	物にぶつかった	44
	事例総数	252		事例総数	338		事例総数	377

【7歳】			【8歳】			【9歳】		
順位	事例	件	順位	事例	件	順位	事例	件
1	ころんだ・すべった	185	1	ころんだ・すべった	178	1	ころんだ・すべった	109
2	物にぶつかった	43	2	段差にひっかかった	41	2	段差にひっかかった	30
3	段差にひっかかった	41	3	物にぶつかった	37	3	物にぶつかった	17
	事例総数	304		事例総数	291		事例総数	179

【10歳】			【11歳】			【12歳（小学生）】		
順位	事例	件	順位	事例	件	順位	事例	件
1	ころんだ・すべった	71	1	ころんだ・すべった	31	1	ころんだ・すべった	15
2	段差にひっかかった	29	2	物にぶつかった	14	2	物にぶつかった	3
3	物にぶつかった	18	3	段差にひっかかった	5	2	人にぶつかった	3
	事例総数	135		事例総数	57		事例総数	23

表 2_3. 年齢別のけが及びヒヤリ・ハット経験した時の事故の状況（全体・上位3位）

(6) 車輪付きスポーツ用品でのけがの状況

図 2_5 は子供の車輪付きスポーツ用品に関してけがをした際の程度について、製品類別に割合を示したものである。けがをした子供のうち、医療機関を受診または入院した割合は「ローラースケート類」が 36.5%と最も多く、次いで「自転車類」が 26.1%となっている。

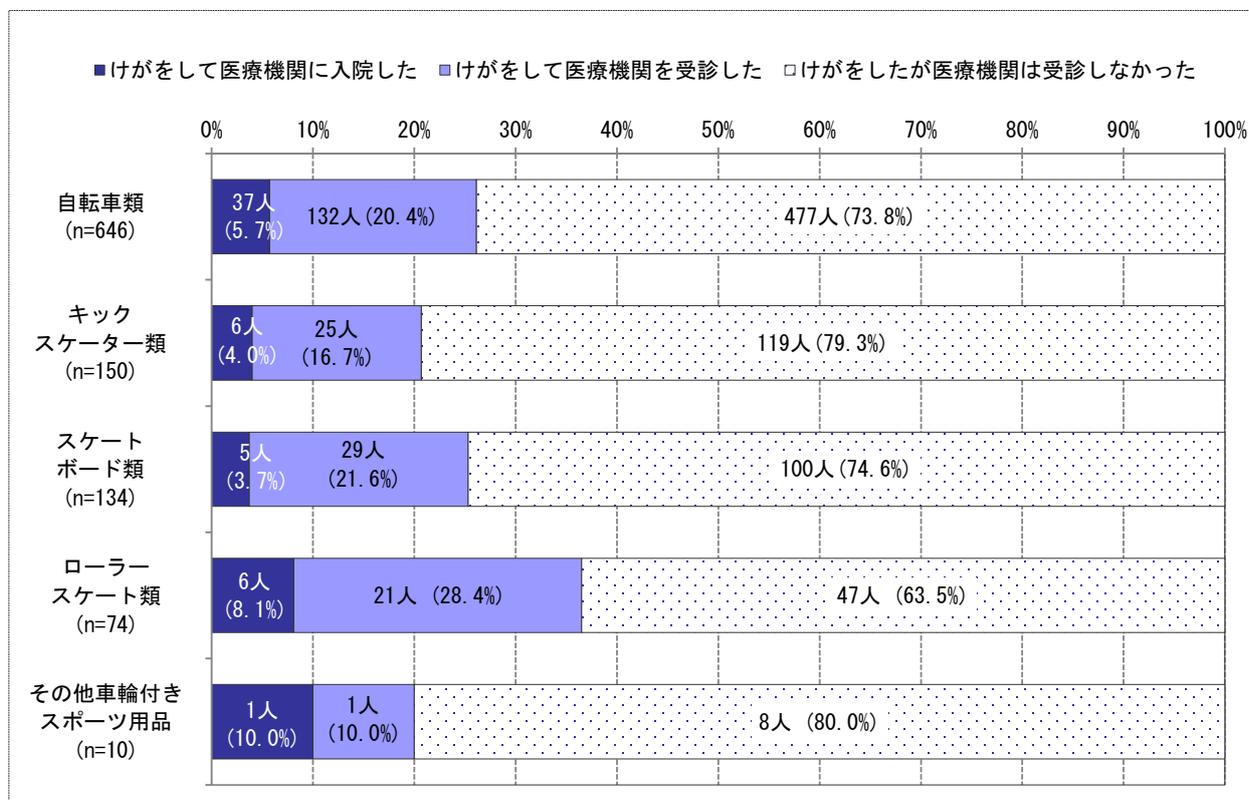


図 2_5. 車輪付きスポーツ用品でのけがの状況 [製品類別]

(7) 車輪付きスポーツ用品でのけがの程度（年齢・性別）

表 2_4 は子供の車輪付きスポーツ用品に関してけがをした際の程度について、年齢・性別の事例数を集計した結果である。

年齢別に見ると「けがをして医療機関に入院した」件数は「6歳」が11件で最も多く、次いで「3歳」と「5歳」が7件となっている。「けがをして医療機関を受診した」件数は「6歳」が38件で最も多く、次いで「8歳」が32件、「5歳」が30件となっている。

(件)

	合計	男児	女児	年齢別(男女計)												
				1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳 小学生	
自転車類	646	364	282	9	21	57	67	107	105	73	83	54	43	18	9	
けがをして医療機関に入院した	37	23	14	3	2	6	0	6	8	3	3	2	3	0	1	
けがをして医療機関を受診した	132	79	53	0	6	14	7	19	24	13	21	11	9	4	4	
けがをしたが医療機関は受診しなかった	477	262	215	6	13	37	60	82	73	57	59	41	31	14	4	
キックスケート類	150	66	84	2	4	16	16	29	29	14	16	9	6	7	2	
けがをして医療機関に入院した	6	4	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	2	0	1	
けがをして医療機関を受診した	25	13	12	1	1	2	3	5	4	1	3	1	1	2	1	
けがをしたが医療機関は受診しなかった	119	49	70	1	3	13	13	24	24	12	13	8	3	5	0	
スケートボード類	134	70	64	3	1	5	4	13	22	28	28	13	11	2	4	
けがをして医療機関に入院した	5	2	3	1	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	
けがをして医療機関を受診した	29	19	10	1	0	2	1	4	5	7	4	2	2	0	1	
けがをしたが医療機関は受診しなかった	100	49	51	1	1	3	3	8	17	21	23	10	8	2	3	
ローラースケート類	74	31	43	1	1	3	5	10	12	14	13	5	7	1	2	
けがをして医療機関に入院した	6	4	2	0	1	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	
けがをして医療機関を受診した	21	11	10	0	0	1	1	2	5	4	4	1	2	0	1	
けがをしたが医療機関は受診しなかった	47	16	31	1	0	2	4	8	5	9	8	3	5	1	1	
その他車輪付きスポーツ用品	10	4	6	0	0	3	1	2	1	3	0	0	0	0	0	
けがをして医療機関に入院した	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
けがをして医療機関を受診した	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
けがをしたが医療機関は受診しなかった	8	2	6	0	0	2	1	2	1	2	0	0	0	0	0	
【合計】	1,014	535	479	15	27	84	93	161	169	132	140	81	67	28	17	
けがをして医療機関に入院した	55	34	21	4	3	7	0	7	11	6	5	4	6	0	2	
けがをして医療機関を受診した	208	123	85	2	7	20	12	30	38	25	32	15	14	6	7	
けがをしたが医療機関は受診しなかった	751	378	373	9	17	57	81	124	120	101	103	62	47	22	8	

表 2_4. 車輪付きスポーツ用品でのけがの程度〔子供の性・年齢別〕

図 2_6 は、表 2_4 に示した子供の車輪付きスポーツ用品に関してけがをした程度について年齢別に示している。“医療機関にかかった”（「けがをして医療機関を受診した」+「けがをして医療機関に入院した」）割合は6歳が49件と最も多く、次いで5歳と8歳が37件となっている。

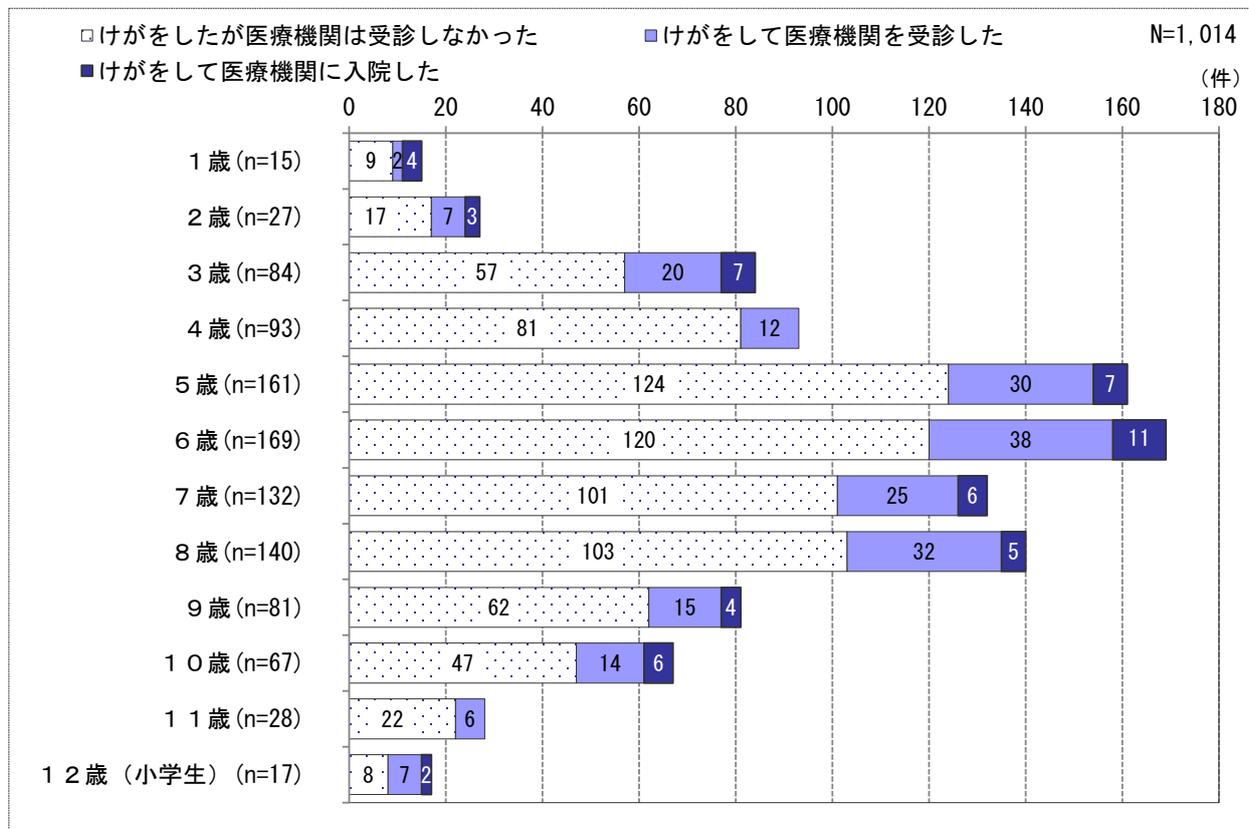


図 2_6. 車輪付きスポーツ用品でのけがの程度〔年齢別〕

図 2_7 は、表 2_4 に示した男女分布を示している。1,014 件の事例のうち、男児の事例が 535 件、女児の事例が 479 件となっている。

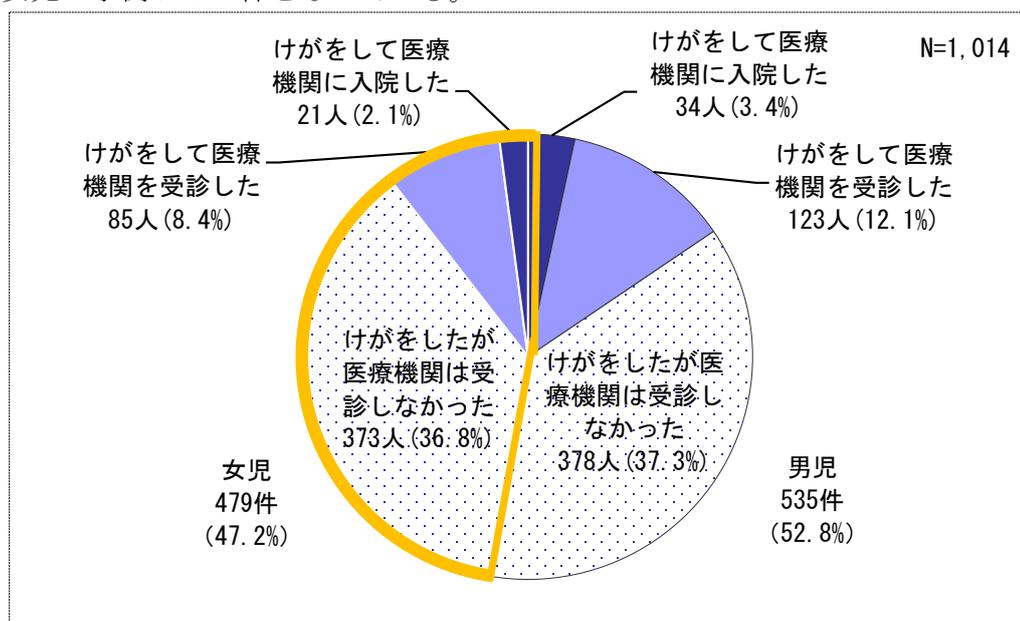


図 2_7. 車輪付きスポーツ用品でのけがの程度〔性別〕

(8) 車輪付きスポーツ用品でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所

表 2_5 は子供の車輪付きスポーツ用品に関してけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所の事例数を集計した結果である。

全体では「公園」が 850 件と最も多く、次いで「公道（歩道）」が 623 件、「公道（車道）」が 498 件となっている。また、道路での使用が原則禁止となっている「キックスケーター類」では、「公道（歩道 120 件・車道 92 件）」で 212 件、「スケートボード類」でも「公道（歩道 51 件・車道 45 件）」96 件であった。

		全体	公園	公道(歩道)	公道(車道)	屋外(自宅の敷地内)	駐車場	屋内(自宅)	屋内(自宅以外)	保育園・幼稚園・学校等の敷地内	その他
自転車類	全体	1227	357	414	340	63	16	9	8	10	10
	自転車	978	254	345	300	46	11	2	7	7	6
	ペダル無し二輪遊具	136	68	33	21	6	1	1	0	2	4
	補助輪付き自転車	77	22	28	15	6	3	1	1	1	0
	三輪車	26	10	7	3	2	0	4	0	0	0
	一輪車	9	3	0	1	3	1	1	0	0	0
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
キック スケーター類	全体	451	165	120	92	45	13	5	0	8	3
	二輪式キックスケーター	385	144	96	77	40	12	5	0	8	3
	三輪式キックスケーター	62	19	23	15	4	1	0	0	0	0
	その他	4	2	1	0	1	0	0	0	0	0
スケート ボード類	全体	348	184	51	45	35	11	5	5	3	9
	スケートボード	176	100	25	17	18	6	4	3	2	1
	キャストボード	171	83	26	28	17	5	1	2	1	8
	その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ローラー スケート類	全体	223	129	34	20	17	4	4	2	9	4
	ローラースケート	160	96	25	13	10	3	2	1	9	1
	インラインスケート	63	33	9	7	7	1	2	1	0	3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他車輪付きスポーツ用品	27	15	4	1	0	1	2	1	3	0	
合計	2276	850	623	498	160	45	25	16	33	26	

表 2_5. 車輪付きスポーツ用品でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所

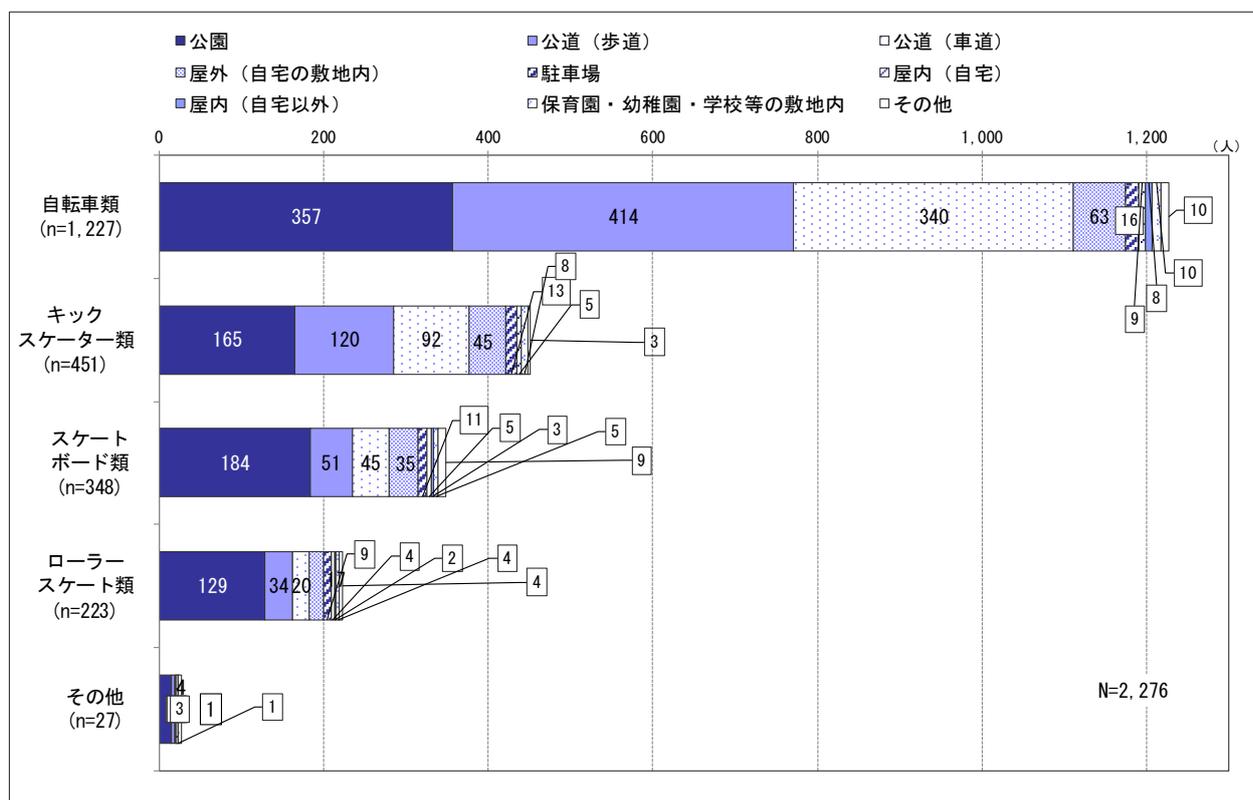


図 2_8. 車輪付きスポーツ用品でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所

3. 自転車類に関するけが及びヒヤリ・ハット経験

(1) 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験

図 3_1 は自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験についてまとめた結果である。自転車類で何らかの“けが及びヒヤリ・ハット経験がある”（「けがをしたことがある」+「けがをしそうになってヒヤリとしたことがある」と回答した人は1,227人(40.9%)となった。そのうち、けがをしたことがある子供は646人(21.5%)となっている。

“けが及びヒヤリ・ハット経験はない”回答者は1,773人(59.1%)となっている。そのうち、「経験はないが危ないと感じている」割合は34.0%、「経験はなく、特に危ないとも思わない」割合は25.1%となっている。

自転車類の所有状況別に見ると、所有者の方がヒヤリ・ハット経験の割合が多く、1,131人(47.0%)となっている。非所有者では”けが及びヒヤリ・ハット経験はない”回答者は497人(83.8%)と8割を超えている。

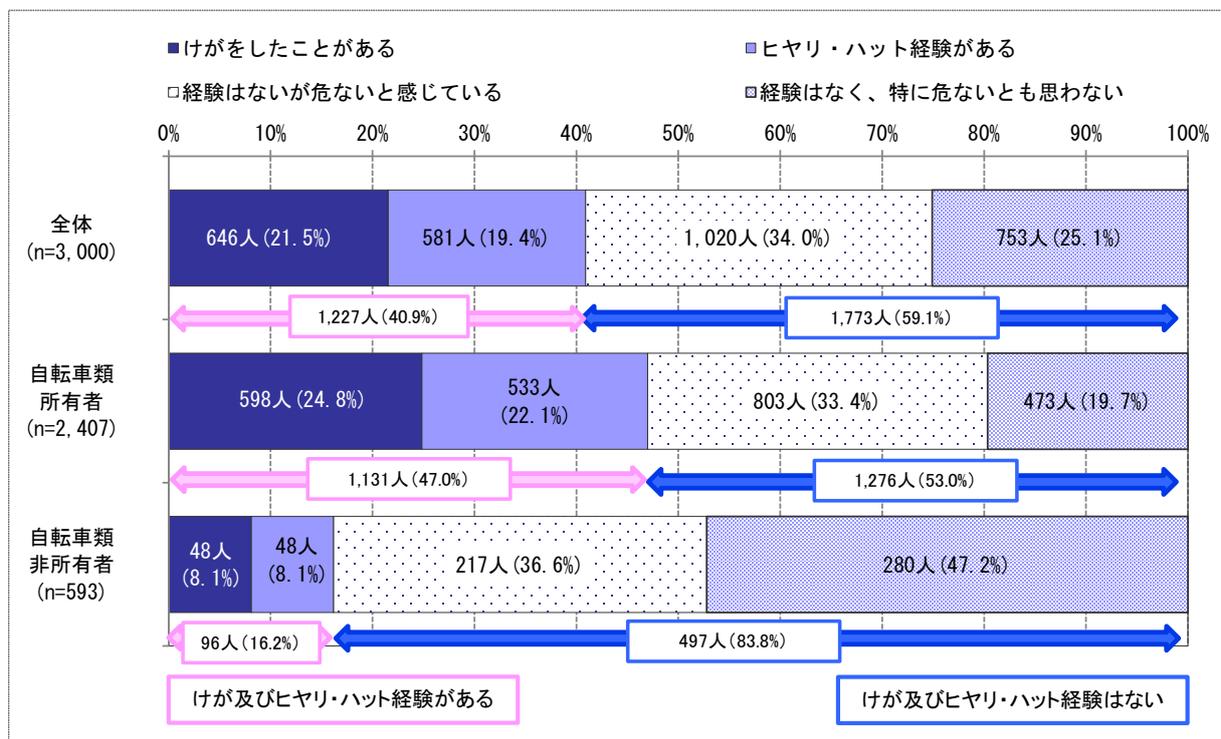


図 3_1. 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハットの程度

(2) 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）

図 3_2 は自転車類の製品別にヒヤリ・ハット経験及びけがの程度についてまとめた結果である。“けがをして医療機関にかかった”（「けがをして医療機関に入院した」+「けがをして医療機関を受診した」）は「自転車」が 140 件と最も多く、次いで「ペダル無し二輪遊具」が 17 件となっている。

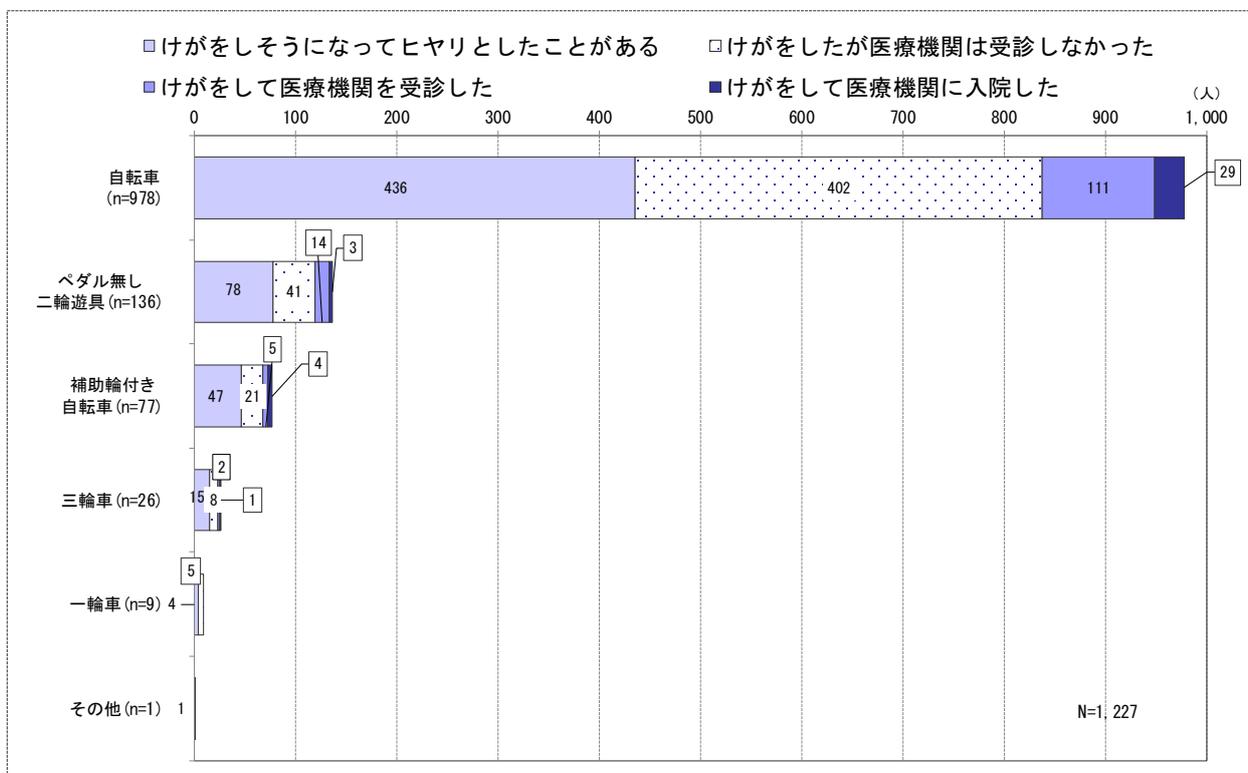


図 3_2. 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度〔製品別〕

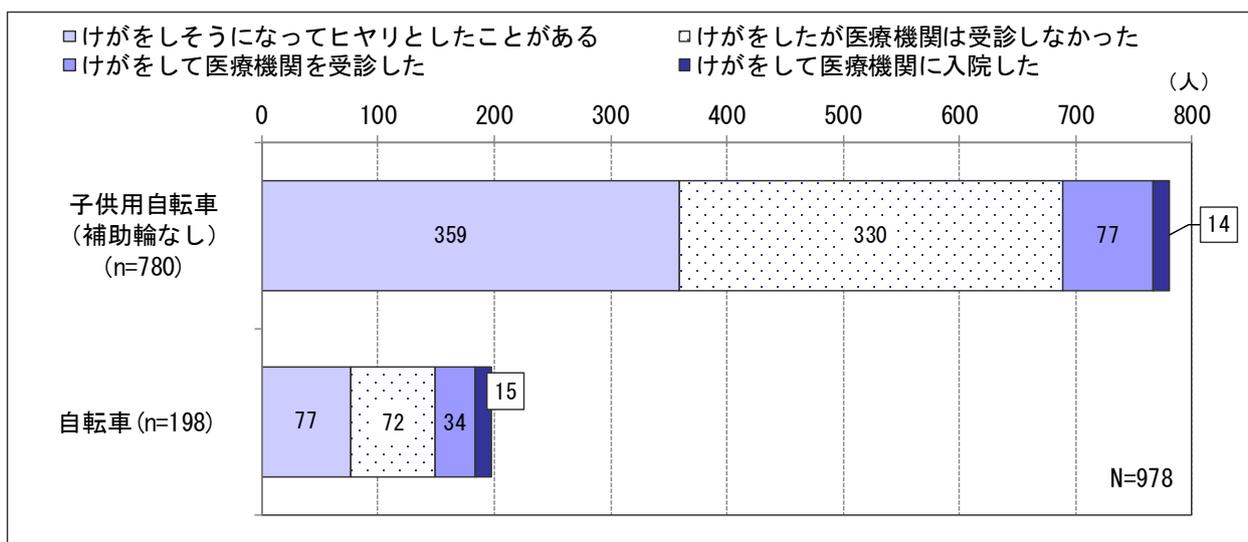


図 3_2_1. 「図 3_2 自転車」についての詳細内訳

(3) 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（製品別）

図 3_3 は自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験について、その原因となった製品・場所別に経験者数をまとめた結果である。

「自転車」では「公道（歩道）」でのけが及びヒヤリ・ハット経験が 345 件と最も多く、ついで「公道（車道）」が 300 件、「公園」が 254 件となっている。「ペダル無し二輪遊具」では「公園」が 68 件と最も多く、ついで「公道（歩道）」が 33 件、「公道（車道）」が 21 件となっている。

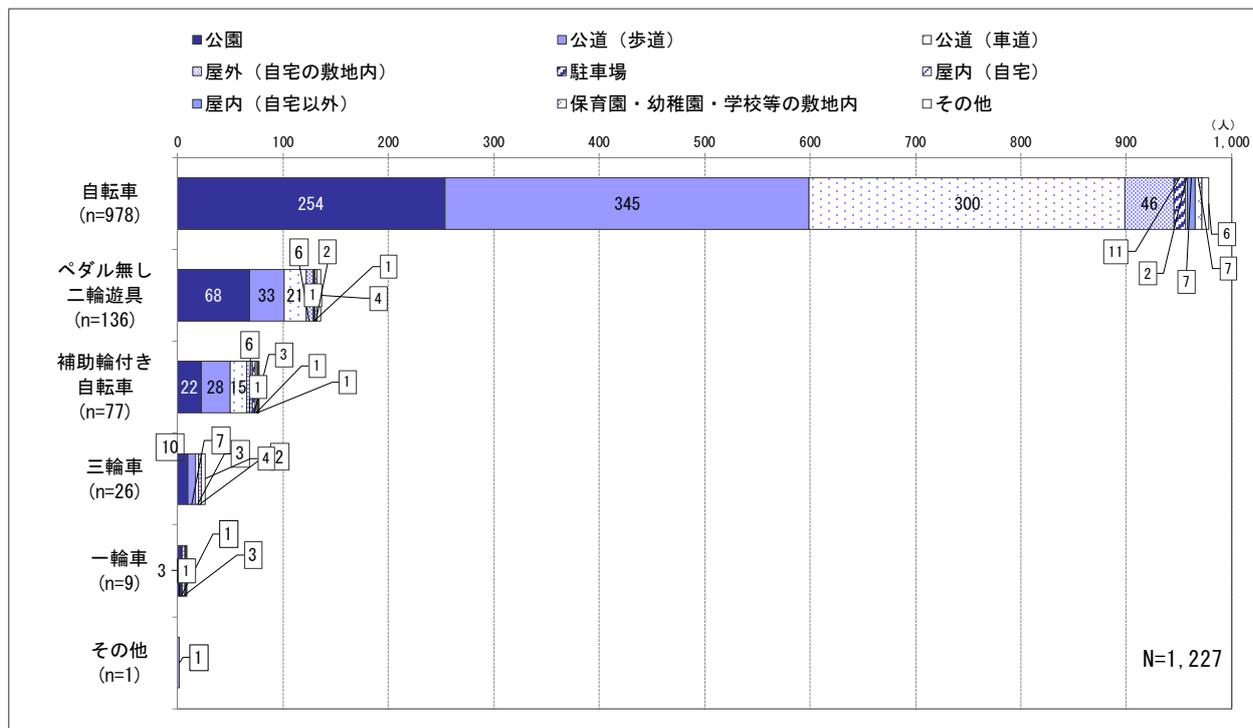


図 3_3. けが及びヒヤリ・ハットの発生場所〔製品・場所別〕

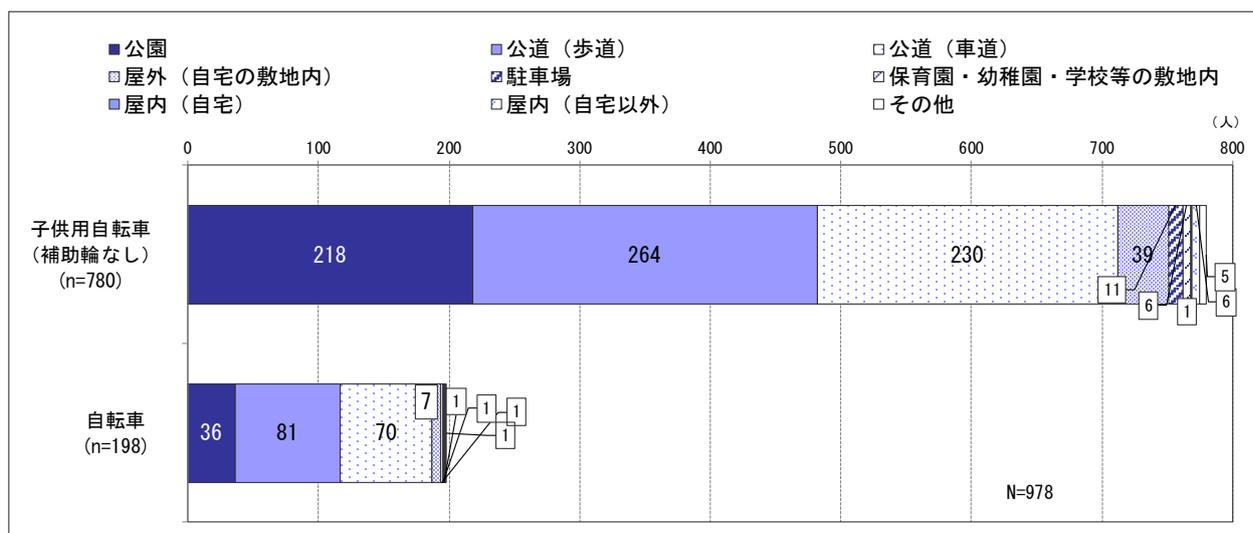


図 3_3_1. 「図 3_3 自転車」についての詳細内訳

(4) 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（性・年齢別）

表 3_1_1 から表 3_1_3 は子供の性・年齢別にけが及びヒヤリ・ハットを経験した製品・場所を比較した結果である。

「三輪車」は男児、女児の事例数が同数であり、「一輪車」は女児の事例数のみとなっている。それ以外の製品では男児の事例数が女児のそれを上回っている。

「自転車」、「補助輪付き自転車」では「公道（歩道）」での事例が最も多く、「ペダル無し二輪遊具」、「三輪車」、「一輪車」では「公園」での事例が最も多い。

発生場所と年齢について見ると、「子供用自転車（補助輪なし）」において1歳～4歳までは「公園」、5歳～7歳までは「公道（歩道）」、8歳～10歳では「公道（車道）」でのけがやヒヤリ・ハット経験が最も多くなっており、年齢層によってけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所に違いが見られる。

(件)

	合計	男児	女児	年齢別（男女計）											
				1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳 小学生
自転車	978	554	424	9	15	45	89	162	193	129	139	90	66	33	8
公園	254	142	112	5	7	19	37	47	55	28	32	15	5	3	1
公道（歩道）	345	179	166	1	2	12	24	54	72	51	44	34	28	20	3
公道（車道）	300	184	116	1	3	8	16	45	52	41	58	34	31	8	3
駐車場	11	7	4	0	0	0	1	1	5	1	0	1	1	1	0
屋外（自宅の敷地内）	46	26	20	0	2	4	10	11	5	7	2	4	1	0	0
屋内（自宅）	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
屋内（自宅以外）	7	5	2	0	0	1	1	0	3	0	2	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	7	5	2	2	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0
その他	6	4	2	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	1	0
(内訳) 子供用自転車（補助輪なし）	780	438	342	6	10	36	82	144	169	108	100	61	43	19	2
公園	218	125	93	5	5	16	34	42	50	26	24	11	2	3	0
公道（歩道）	264	129	135	0	1	10	22	47	62	38	33	21	19	10	1
公道（車道）	230	142	88	0	2	7	15	40	43	36	38	23	20	5	1
駐車場	11	7	4	0	0	0	1	1	5	1	0	1	1	1	0
屋外（自宅の敷地内）	39	22	17	0	1	2	9	10	5	6	2	3	1	0	0
屋内（自宅）	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
屋内（自宅以外）	6	4	2	0	0	0	1	0	3	0	2	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	6	4	2	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0
その他	5	4	1	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	0	0
(内訳) 自転車	198	116	82	3	5	9	7	18	24	21	39	29	23	14	6
公園	36	17	19	0	2	3	3	5	5	2	8	4	3	0	1
公道（歩道）	81	50	31	1	1	2	2	7	10	13	11	13	9	10	2
公道（車道）	70	42	28	1	1	1	1	5	9	5	20	11	11	3	2
駐車場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
屋外（自宅の敷地内）	7	4	3	0	1	2	1	1	0	1	0	1	0	0	0
屋内（自宅）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
屋内（自宅以外）	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

表 3_1_1. 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験〔製品×子供の性・年齢別〕

(件)

	合計	男児	女児	年齢別 (男女計)											
				1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳 小学生
ペダル無し二輪遊具	136	77	59	2	24	42	35	15	7	3	4	1	2	0	1
公園	68	36	32	2	15	24	12	9	2	2	2	0	0	0	0
公道 (歩道)	33	19	14	0	3	9	15	2	1	0	1	0	2	0	0
公道 (車道)	21	13	8	0	4	6	3	2	4	1	0	0	0	0	1
駐車場	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
屋外 (自宅の敷地内)	6	4	2	0	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0
屋内 (自宅)	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
屋内 (自宅以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	2	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	3	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
補助輪付き自転車	77	40	37	1	4	16	20	19	12	3	0	1	1	0	0
公園	22	11	11	0	2	4	7	4	3	1	0	1	0	0	0
公道 (歩道)	28	15	13	0	2	5	7	8	3	2	0	0	1	0	0
公道 (車道)	15	8	7	1	0	4	3	3	4	0	0	0	0	0	0
駐車場	3	1	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
屋外 (自宅の敷地内)	6	3	3	0	0	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0
屋内 (自宅)	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
屋内 (自宅以外)	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三輪車	26	13	13	4	8	10	1	1	0	0	0	1	1	0	0
公園	10	5	5	2	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
公道 (歩道)	7	3	4	0	1	4	0	1	0	0	0	1	0	0	0
公道 (車道)	3	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0
駐車場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
屋外 (自宅の敷地内)	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
屋内 (自宅)	4	3	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
屋内 (自宅以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一輪車	9	0	9	0	1	0	1	0	0	0	2	4	0	1	0
公園	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0
公道 (歩道)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公道 (車道)	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車場	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
屋外 (自宅の敷地内)	3	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
屋内 (自宅)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
屋内 (自宅以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 3_1_2. 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験〔製品×子供の性・年齢別〕

(件)

	合計	男児	女児	年齢別 (男女計)											
				1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳 小学生
その他	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
公道 (歩道)	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
公道 (車道)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
駐車場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
屋外 (自宅の敷地内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
屋内 (自宅)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
屋内 (自宅以外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【合計】	1,227	685	542	16	52	114	146	197	212	135	145	97	70	34	9
公園	357	194	163	9	28	50	57	60	60	31	35	18	5	3	1
公道 (歩道)	414	217	197	1	8	31	46	65	76	53	45	35	31	20	3
公道 (車道)	340	206	134	2	7	20	23	50	60	42	58	34	32	8	4
駐車場	16	8	8	0	0	0	2	2	6	1	0	3	1	1	0
屋外 (自宅の敷地内)	63	34	29	0	4	9	14	14	6	7	3	4	1	1	0
屋内 (自宅)	9	5	4	2	2	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1
屋内 (自宅以外)	8	6	2	0	0	1	1	1	3	0	2	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	10	8	2	2	2	1	1	2	0	1	0	1	0	0	0
その他	10	7	3	0	1	1	1	3	0	0	2	1	0	1	0

表 3_1_3. 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験 [製品×子供の性・年齢別]

(5) 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の事故状況（製品別）

表 3_2 は製品別にけが及びヒヤリ・ハット経験の事故状況を比較した結果である。

「ころんだ・すべった」が 717 件と最も多く、次いで「物にぶつかった」が 189 件、「段差にひっかかった」が 149 件となっている。

(件)

	合計	た こ ろ ん だ ・ す べ っ た	物 に ぶ つ か っ た	た 段 差 に ひ っ か か っ た	人 に ぶ つ か っ た	り こ ろ び う に そ う ・ す べ っ た	に な ぶ つ た	人 に ぶ つ か り そ う	に 物 に ぶ つ か り そ う	指 を 挟 ん だ	ん だ を 車 輪 に 巻 き 込 み	そ の 他
自転車類	1,227	717	189	149	67	25	24	23	6	5	22	
自転車	978	562	161	116	64	19	19	15	5	4	13	
(内訳) 子供用自転車 (補助輪なし)	780	452	129	91	48	16	13	12	4	3	12	
(内訳) 自転車	198	110	32	25	16	3	6	3	1	1	1	
ペダル無し二輪遊具	136	88	12	17	1	4	5	3	0	0	6	
補助輪付き自転車	77	46	12	11	0	1	0	5	0	0	2	
三輪車	26	15	3	4	2	0	0	0	0	1	1	
一輪車	9	5	1	1	0	1	0	0	1	0	0	
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

表 3_2. 自転車類でのけが及びヒヤリ・ハット経験〔製品×事故状況別〕

(6) 自転車類での詳細事例 (抜粋)

No	製品	けが/ ヒヤリ	性別・年齢	経験場所	内 容
1	子供用自転車 (補助輪なし)	けが	女兒 6 歳	公道 (車道)	前を走る兄に追いつこうとして斜めの道で転倒し、腕の骨にヒビが入った。
2	子供用自転車 (補助輪なし)	けが	女兒 9 歳	公道 (歩道)	走行しながら左側にあった段差部分にあがろうとした際に段差に車輪が強く接してそのまま転倒。
3	子供用自転車 (補助輪なし)	けが	男児 10 歳	公道 (歩道)	前かごにショルダーバッグを入れて走っていたら肩ひもが垂れ下がり車輪に巻き込まれて転倒した。
4	子供用自転車 (補助輪なし)	けが	男児 10 歳	公道 (車道)	歩行者信号が青から赤に切り替わったタイミングで飛び出し、直進してきた車のタイヤと接触、転倒。
5	子供用自転車 (補助輪なし)	けが	男児 5 歳	公道 (車道)	乗り始めの頃、スピードが出てしまい、急ブレーキをかけさせると、バランスを崩して頭から落ちて頭を強く打った。
6	子供用自転車 (補助輪なし)	けが	男児 6 歳	公道 (歩道)	信号が代わりそうなタイミングで慌てて走ってきたママチャリと自転車同士でぶつかり指を骨折した。
7	子供用自転車 (補助輪なし)	けが	男児 6 歳	公道 (車道)	並行して走る自転車が右に曲がったところに突っ込んだ。
8	子供用自転車 (補助輪なし)	けが	男児 7 歳	公道 (車道)	後ろから車が来たので、車道から公道に上がろうとしたら段差に引っかかって転んでしまった。
9	子供用自転車 (補助輪なし)	けが	男児 8 歳	公道 (車道)	車道を走っていたところ雨がふりはじめてやや地面が濡れておりハンドルを切ったところで滑ってしまい転んだ。
10	子供用自転車 (補助輪なし)	けが	男児 9 歳	団地の敷地内	友達同士で自転車に乗って遊んでいたが、出合頭に自転車同士でぶつかって、左ハンドルのところがぶつかったため、左中指を骨折。
11	子供用自転車 (補助輪なし)	ヒヤリ	女兒 2 歳	保育園・幼稚園・学校等の敷地内	自転車に乗っている大きい子とぶつかった。ものすごいスピードできたから、向こうから来た子もブレーキをかけられず、こちらも娘が小さすぎて避けることさえ、できなかった。
12	子供用自転車 (補助輪なし)	ヒヤリ	男児 5 歳	公園	子供が自転車に乗っているところに、ながらスマホの大人が突っ込んできた。
13	自転車	けが	女兒 11 歳	公道 (車道)	自転車に乗った子供が右折したら、左から走行してきた自転車とぶつかった。自転車ごと倒れ頭を地面に打ち付けた為、病院へいき CT レントゲン撮ってもらった。
14	自転車	けが	女兒 5 歳	公道 (歩道)	子供が歩いていたところへ、子供を前後にのせた自転車かぶつかった。
15	自転車	けが	女兒 7 歳	屋外 (自宅の敷地内)	バックしてきた車とぶつかり、転倒した際に自転車のハンドルがお腹にあたりアザになった。
16	自転車	けが	男児 10 歳	公道 (車道)	子供が、ロードバイクで車道を走行中、停車していたバイクが急に発進して、飛ばされ脳震盪、鎖骨骨折で入院、手術した。
17	自転車	けが	男児 3 歳	屋外 (自宅の敷地内)	停車中の大人用自転車のチャイルドシートに座っている状態で左に転倒。子供の左腕のビジ上を骨折。

No	製品	けが/ ヒヤリ	性別・年齢	経験場所	内 容
18	補助輪付き自転車	けが	男児 5 歳	公道（歩道）	子供が自転車で走行中、横に傾斜がある道でさらにコンクリートが劣化しておりガタガタしていた所に補助輪が引っかかり転倒した。
19	ペダル無し二輪遊具	けが	男児 2 歳	公園	公園の坂道をペダル無し二輪遊具で降りていると、石が凸凹と出ていたところがあり、バランスを崩して転倒した。手はハンドルを持っていたため、前に倒れたのに手が出ず、額と歯を強く打ち、擦り傷と歯の変色で病院に行った。
20	ペダル無し二輪遊具	けが	男児 3 歳	公道（歩道）	下り坂を降りている時に加速してしまい、勢いが増して、バランスがとれなくなり、まぶた付近を怪我してしまった。
21	ペダル無し二輪遊具	ヒヤリ	男児 4 歳	公道（歩道）	後ろを歩く母を確認しながら乗っており、柱に自転車がぶつかって転んだ。
22	一輪車	ヒヤリ	女児 2 歳	屋外（自宅の敷地内）	庭に置いてあった一輪車のペダルを回して遊んでいたところ、指を挟んだ。
23	三輪車	ヒヤリ	女児 3 歳	公園	後ろに大人が押すバーがついている三輪車に乗っていて、常によく見ていないと足が車輪に引き込まれてしまいそうになったり、引いてしまったりすることがあった。

4. キックスケーター類に関するけが及びヒヤリ・ハット経験

(1) キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験

図 4_1 はキックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験についてまとめた結果である。キックスケーター類で何らかの“けが及びヒヤリ・ハット経験がある”（「けがをしたことがある」+「けがをしそうになってヒヤリとしたことがある」）と回答した人は 451 人(15.0%)となった。そのうち、けがをしたことがある子供は 150 人(5.0%)となっている。

“けが及びヒヤリ・ハット経験はない” 回答者は 2,549 人(85.0%)となっている。そのうち、「経験はないが危ないと感じている」割合は 36.7%、「経験はなく、特に危ないとも思わない」割合は 48.3%となっている。

キックスケーター類の所有状況別に見ると、所有者の方がヒヤリ・ハット経験の割合が多く、275 人(35.3%)となっている。非所有者では”けが及びヒヤリ・ハット経験はない” 回答者は 2,044 人(92.1%)となっている。

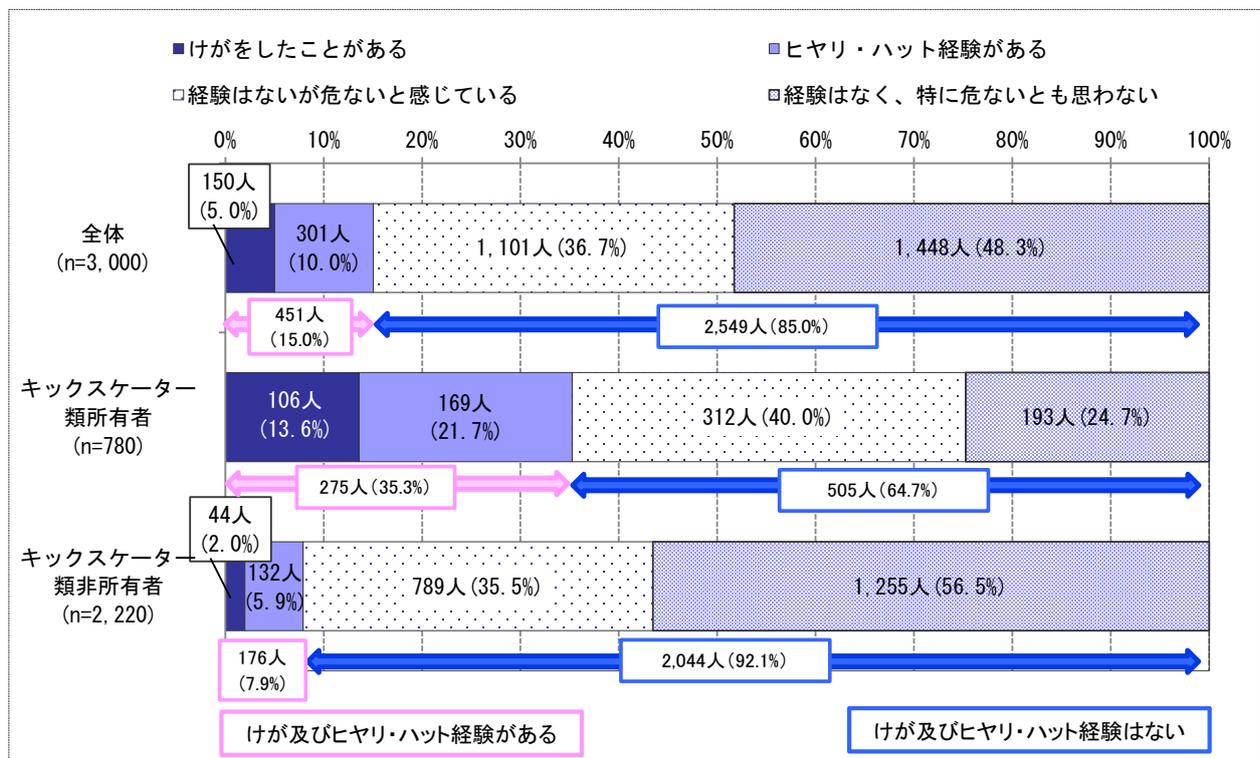


図 4_1. キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度

(2) キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）

図 4_2 はキックスケーター類の製品別にヒヤリ・ハット経験及びけがの程度についてまとめた結果である。“けがをして医療機関にかかった”（「けがをして医療機関に入院した」+「けがをして医療機関を受診した」）は「二輪式キックスケーター」が 28 件と最も多く、次いで「三輪式キックスケーター」が 3 件となっている。

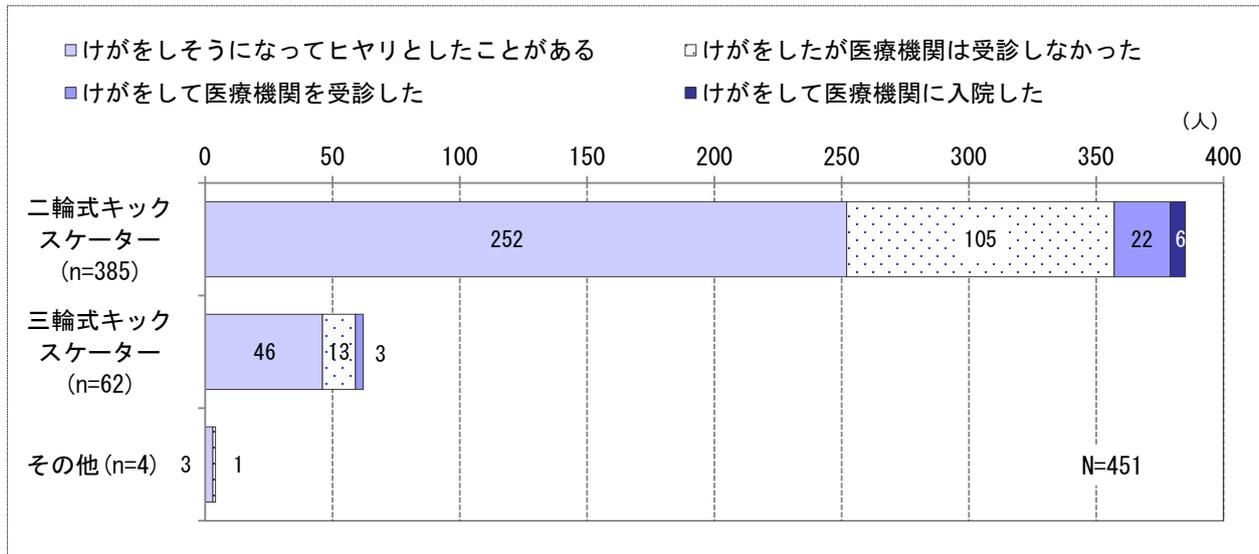


図 4_2. キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度〔製品別〕

(3) キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（製品別）

図 4_3 はキックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験について、その原因となった製品・場所別に経験者数をまとめた結果である。

「二輪式キックスケーター」では「公園」でのけが及びヒヤリ・ハット経験が 144 件と最も多く、ついで「公道（歩道）」が 96 件、「公道（車道）」が 77 件となっている。「三輪式キックスケーター」では「公道（歩道）」でのけが及びヒヤリ・ハット経験が 23 件と最も多く、ついで「公園」が 19 件、「公道（車道）」が 15 件となっている。

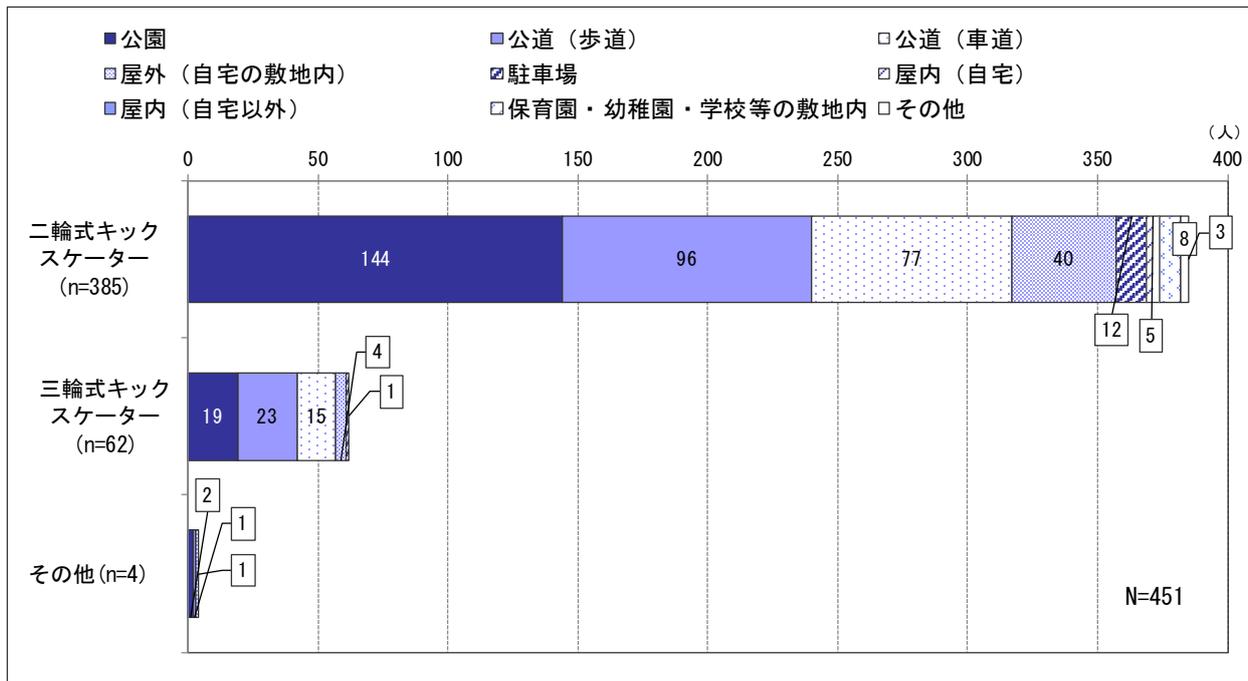


図 4_3. けが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所〔製品・場所別〕

(4) キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（性・年齢別）

表 4_1_1 及び表 4_1_2 は子供の性・年齢別にけが及びヒヤリ・ハットを経験した製品・場所を比較した結果である。

「二輪式キックスケーター」は女兒の事例数が 202 件と男児と比較して多く、「三輪式キックスケーター」は男児の事例数が 34 件と女兒と比較して多くなっている。

発生場所について見ると、「二輪式キックスケーター」は「公園」が 144 件と最も多く、「三輪式キックスケーター」は「公道（歩道）」が 23 件と最も多い。

年齢について見ると、「二輪式キックスケーター」は「6 歳」が 70 件と最も多く、「4 歳」、「5 歳」、「7 歳」においても 50 件を超えている。「三輪式キックスケーター」は「5 歳」が 17 件と最も多く、ついで「3 歳」が 15 件となっている。

(件)

	合計	男児	女兒	年齢別（男女計）											
				1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳 小学生
二輪式キックスケーター	385	183	202	8	9	33	54	57	70	51	47	25	18	10	3
公園	144	63	81	3	3	15	26	18	27	17	17	8	4	6	0
公道（歩道）	96	43	53	1	2	6	10	18	14	16	15	8	4	2	0
公道（車道）	77	44	33	1	1	5	7	12	17	13	9	4	4	1	3
駐車場	12	7	5	1	0	2	2	3	0	2	1	0	1	0	0
屋外（自宅の敷地内）	40	19	21	1	1	4	5	6	8	2	4	4	4	1	0
屋内（自宅）	5	3	2	1	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0
屋内（自宅以外）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	8	3	5	0	2	1	2	0	0	1	0	1	1	0	0
その他	3	1	2	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
三輪式キックスケーター	62	34	28	1	3	15	8	17	4	4	6	2	1	0	1
公園	19	12	7	1	2	5	3	4	1	2	1	0	0	0	0
公道（歩道）	23	11	12	0	0	7	3	4	2	1	3	2	0	0	1
公道（車道）	15	8	7	0	0	2	2	6	1	1	2	0	1	0	0
駐車場	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
屋外（自宅の敷地内）	4	2	2	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
屋内（自宅）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
屋内（自宅以外）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	2	2	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
公園	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
公道（歩道）	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
公道（車道）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
屋外（自宅の敷地内）	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
屋内（自宅）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
屋内（自宅以外）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 4_1_1. キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験〔製品×子供の性・年齢別〕

【合計】	899	437	462	18	26	96	123	150	146	110	106	56	38	22	8
公園	451	219	232	9	13	48	62	75	74	55	53	28	19	11	4
公道（歩道）	165	76	89	4	6	20	29	22	28	19	18	8	4	7	0
公道（車道）	120	55	65	1	2	13	13	23	16	17	18	10	4	2	1
駐車場	92	52	40	1	1	7	9	18	18	14	11	4	5	1	3
屋外（自宅の敷地内）	13	8	5	1	0	2	2	4	0	2	1	0	1	0	0
屋内（自宅）	45	21	24	1	2	5	5	8	8	2	4	5	4	1	0
屋内（自宅以外）	5	3	2	1	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	8	3	5	0	2	1	2	0	0	1	0	1	1	0	0

表 4_1_2. キックスケーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験〔製品×子供の性・年齢別〕

(5) キックスクーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の事故状況（製品別）

表 4_2 は製品別にけが及びヒヤリ・ハット経験の事故状況を比較した結果である。

「ころんだ・すべった」が 247 件と最も多く、次いで「段差にひっかかった」が 101 件、「物にぶつかった」が 44 件となっている。

(件)

	合計	ころんだ・すべった	段差にひっかかった	物にぶつかった	人にぶつかった	人にぶつかりそうになった	ころびそう・すべりそうになった	物にぶつかりそうになった	指を挟んだ	足や手を車輪に巻き込んだ	乗っていた時に折りたまれてしまった	その他
キックスクーター類	451	247	101	44	22	16	8	5	4	2	0	2
二輪式キックスクーター	385	217	80	37	19	14	7	4	3	2	0	2
三輪式キックスクーター	62	30	19	6	3	2	0	1	1	0	0	0
その他	4	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0

表 4_2. キックスクーター類でのけが及びヒヤリ・ハット経験〔製品×事故状況別〕

(6) キックスケーター類での詳細事例 (抜粋)

No	製品	けが/ヒヤリ	性別・年齢	経験場所	内 容
1	二輪式キックスケーター	けが	女兒 5 歳	屋外 (自宅の敷地内)	平ではないところで遊んでいたところ、タイヤが溝にはまり転んだ。
2	二輪式キックスケーター	けが	女兒 6 歳	公園	急ハンドルを切った時に前輪が真横を向いてしまいブレーキがかかり前方に転倒した。
3	二輪式キックスケーター	けが	女兒 8 歳	屋内 (自宅)	折りたたむときに指を挟んだ。
4	二輪式キックスケーター	けが	女兒 9 歳	保育園・幼稚園・学校等の敷地内	子どもが二輪式キックスケーターで走行中、排水溝の溝に挟まって転倒した。
5	二輪式キックスケーター	けが	男児 3 歳	屋外 (自宅の敷地内)	家の前に少し段差があり、敷地内から道に行こうとした時その段差にキックスケーターの裏があたって前に倒れた。
6	二輪式キックスケーター	けが	男児 4 歳	公道 (車道)	後ろタイヤを上げるとボード部分が振られて足に当たってあざが出る。
7	二輪式キックスケーター	けが	男児 4 歳	公園	キックスケーターで滑っていたら、バランスを崩して転んでしまい、横に倒れて、落ちていた石に鼻をぶつけて切ってしまった
8	二輪式キックスケーター	けが	男児 5 歳	公園	車輪部分に小さい石がはさまり、動かなくなってしまいころんだ。
9	二輪式キックスケーター	けが	男児 8 歳	公道 (歩道)	石にひっかかり前に転んでしまい手首骨折してしまった。
10	二輪式キックスケーター	けが	男児 8 歳	公道 (車道)	石に躓いて転び、左腕を骨折した。
11	二輪式キックスケーター	ヒヤリ	女兒 10 歳	屋外 (自宅の敷地内)	マンション内で出会い頭にひととぶつかりそうになった。
12	二輪式キックスケーター	ヒヤリ	男児 3 歳	公園	子供が遊んでいるところへ、キックスケーターに乗った他の子が来てぶつかりそうになった。
13	二輪式キックスケーター	ヒヤリ	男児 4 歳	公園	キックボードや自転車が禁止されている公園だったが、乗っている子がいるのに気づかずに、我が子は走っていて、飛び出してきたキックボードの子と接触しかけた。
14	三輪式キックスケーター	けが	女兒 2 歳	屋外 (自宅の敷地内)	コーナーを曲がる際に後輪のタイヤがコーナーにあった縁石にひっかかり、持ち手を掴んだまま、そのまま前に転び、持ち手に前歯を強打して前歯と歯茎を大怪我した。
15	三輪式キックスケーター	けが	男児 4 歳	公道 (車道)	買ったばかりで、坂道を下っている時に後ろブレーキがとっさにわからなくなって、途中で飛び降りて怪我した。
16	三輪式キックスケーター	ヒヤリ	男児 3 歳	公道 (歩道)	排水溝の溝に車輪(前輪)がはまり前につんのめるように転倒した。
17	三輪式キックスケーター	ヒヤリ	男児 5 歳	公道 (歩道)	勢いをつけ過ぎて、前のめりに転んでしまった。手がついたので顔をぶつけずにすんだが一歩間違えば大怪我だった。

5. スケートボード類に関するけが及びヒヤリ・ハット経験

(1) スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験

図5_1はスケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験についてまとめた結果である。スケートボード類で何らかの「けが及びヒヤリ・ハット経験がある」（「けがをしたことがある」＋「けがをしそうになってヒヤリとしたことがある」と回答した人は348人（11.6%）となった。そのうち、けがをしたことがある子供は134人（4.5%）となっている。

“けが及びヒヤリ・ハット経験はない”回答者は2,652人（88.4%）となっている。そのうち、「経験はないが危ないと感じている」割合は37.3%、「経験はなく、特に危ないとも思わない」割合は51.1%となっている。

スケートボード類の所有状況別に見ると、所有者の方がヒヤリ・ハット経験の割合が多く、217人（38.2%）となっている。非所有者では”けが及びヒヤリ・ハット経験はない”回答者は2,301人（94.6%）と9割を超えている。

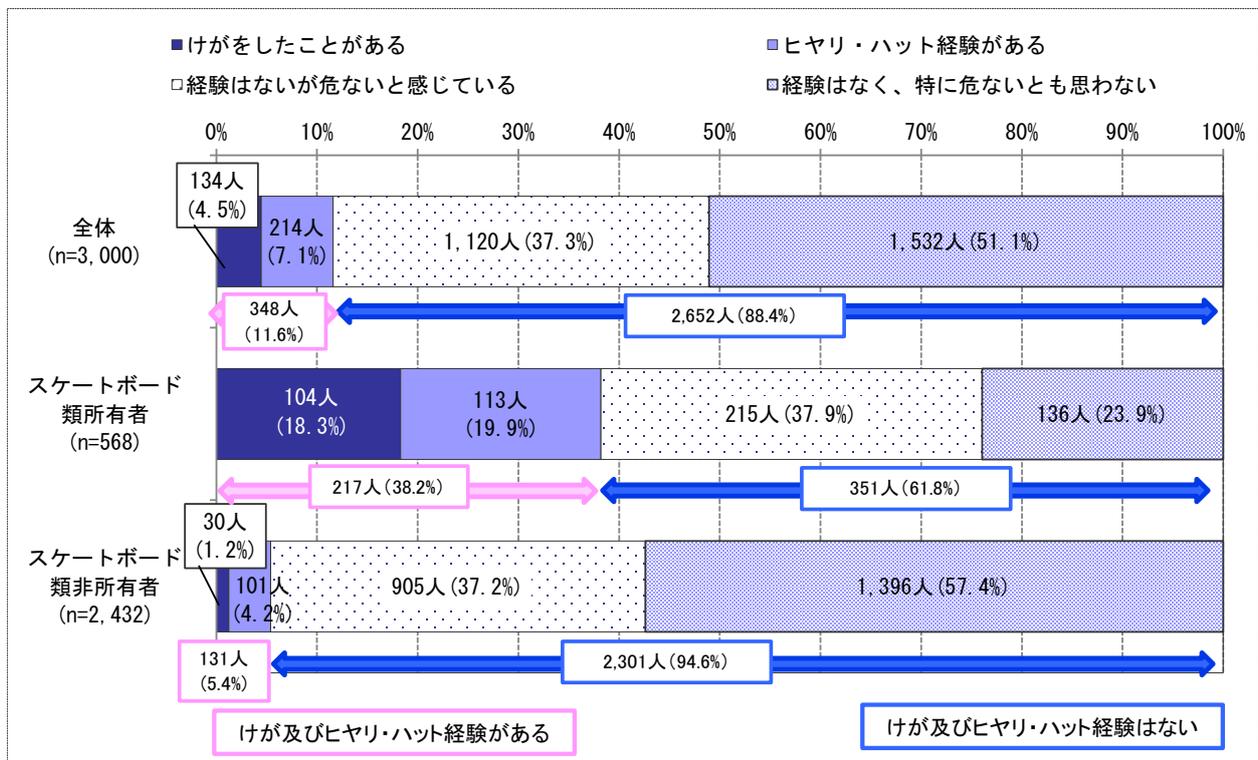


図5_1. スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度

(2) スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）

図 5_2 はスケートボード類の製品別にヒヤリ・ハット経験及びけがの程度についてまとめた結果である。“けがをして医療機関にかかった”（「けがをして医療機関に入院した」+「けがをして医療機関を受診した」）は「スケートボード」が21件と最も多く、次いで「キャスターボード」が13件となっている。

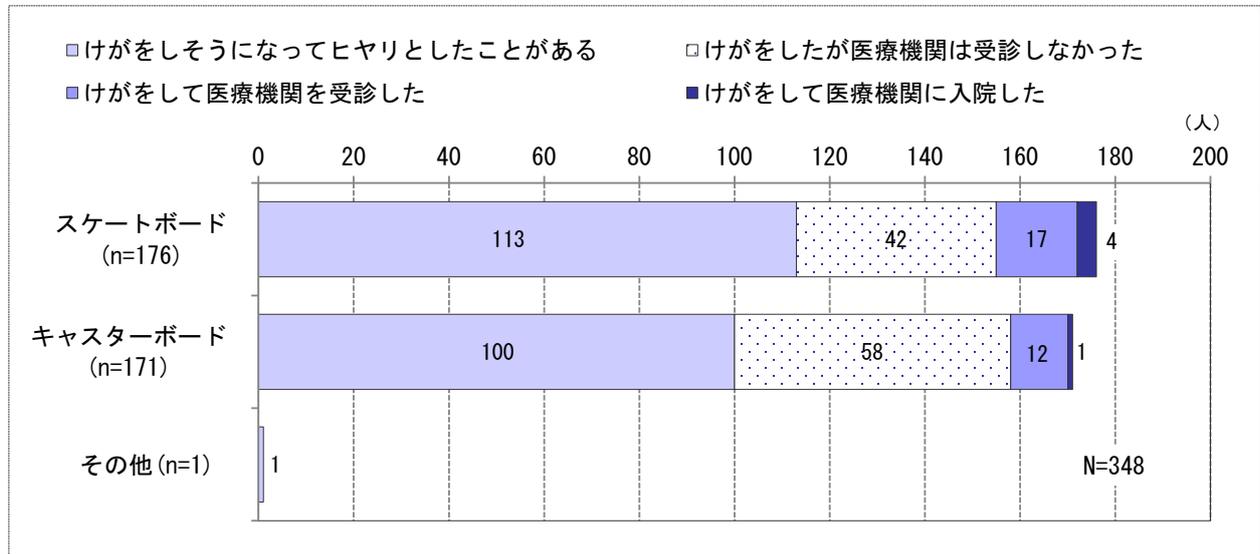


図 5_2. スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度〔製品別〕

(3) スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（製品別）

図 5_3 はスケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験について、その原因となった製品・場所別に経験者数をまとめた結果である。

「スケートボード」では「公園」でのけが及びヒヤリ・ハット経験が 100 件と最も多く発生場所の 56.8%を占めている。次いで「公道（歩道）」が 25 件、「屋外（自宅の敷地内）」が 18 件となっている。

「キャスターボード」では「公園」でのけが及びヒヤリ・ハット経験が 83 件と最も多く発生場所の 48.5%に達する。次いで「公道（車道）」が 28 件、「公道（歩道）」が 26 件となっている。

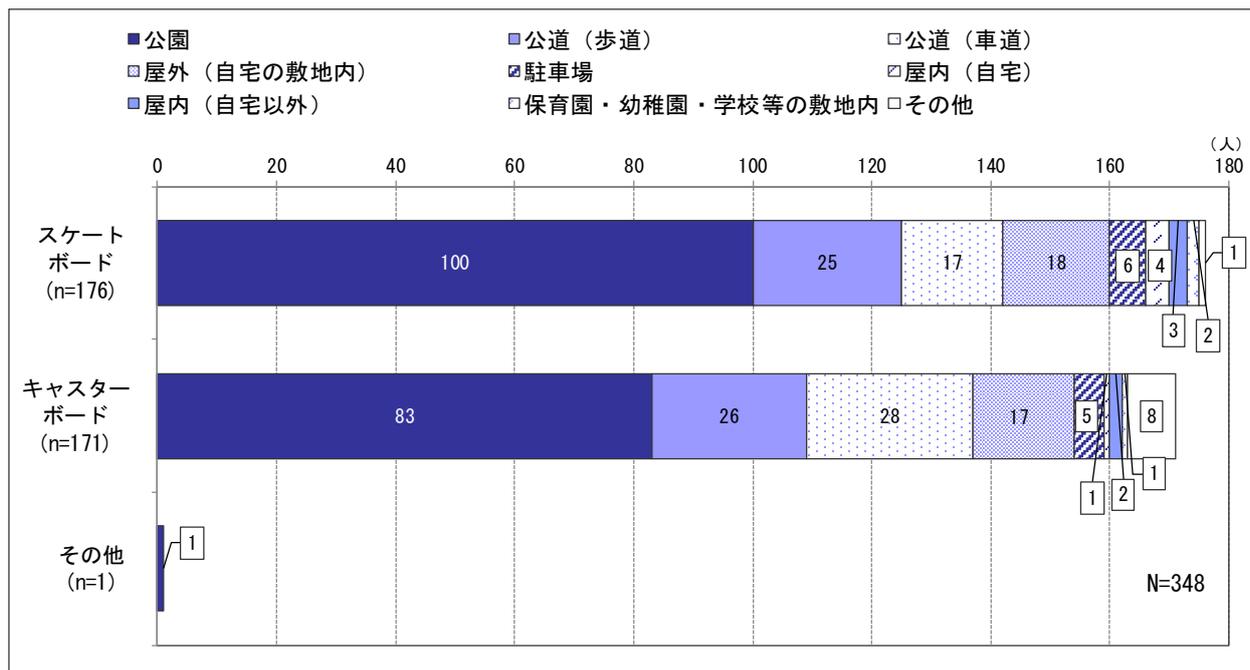


図 5_3. けが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所〔製品・場所別〕

(4) スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（性・年齢別）

表 5_1_1 及び表 5_1_2 は子供の性・年齢別にけが及びヒヤリ・ハットを経験した製品・場所を比較した結果である。

「スケートボード」は男児の事例数が 101 件と女児と比較して多く、「キャスターボード」は女児の事例数が 94 件と男児と比較して多くなっている。

発生場所と年齢について見ると、「スケートボード」において「公園」では 8 歳が 15 件と最も多く、次いで 6 歳と 7 歳が 12 件となっている。「公道（車道）」では 8 歳が 6 件と多くとなっている。

「キャスターボード」において「公園」では 7 歳が 21 件と最も多く、次いで 6 歳が 15 件、8 歳が 12 件となっている。「公道（車道）」では 7 歳が 12 件と多くとなっている。

(件)

	合計	男児	女児	年齢別（男女計）											
				1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳 小学生
スケートボード	176	101	75	6	8	16	19	17	25	21	29	11	13	7	4
公園	100	56	44	3	5	10	11	11	12	12	15	5	10	5	1
公道（歩道）	25	13	12	3	1	1	3	2	5	3	3	3	0	1	0
公道（車道）	17	8	9	0	1	1	2	1	2	1	6	0	1	0	2
駐車場	6	4	2	0	0	1	0	0	1	1	0	1	1	1	0
屋外（自宅の敷地内）	18	12	6	0	1	3	2	3	2	3	3	1	0	0	0
屋内（自宅）	4	3	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1
屋内（自宅以外）	3	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
キャスターボード	171	77	94	2	3	1	5	17	24	51	32	18	14	2	2
公園	83	33	50	2	3	0	4	10	15	21	12	9	6	1	0
公道（歩道）	26	12	14	0	0	0	1	3	3	7	8	3	1	0	0
公道（車道）	28	13	15	0	0	0	0	1	3	12	7	2	3	0	0
駐車場	5	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	1
屋外（自宅の敷地内）	17	10	7	0	0	1	0	1	2	5	3	2	2	1	0
屋内（自宅）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
屋内（自宅以外）	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
その他	8	3	5	0	0	0	0	1	1	3	2	0	0	0	1
その他	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
公園	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
公道（歩道）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公道（車道）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駐車場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
屋外（自宅の敷地内）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
屋内（自宅）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
屋内（自宅以外）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 5_1_1. スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験〔製品×子供の性・年齢別〕

【合計】	348	179	169	8	11	17	24	34	49	73	61	29	27	9	6
公園	184	90	94	5	8	10	15	21	27	34	27	14	16	6	1
公道（歩道）	51	25	26	3	1	1	4	5	8	10	11	6	1	1	0
公道（車道）	45	21	24	0	1	1	2	2	5	13	13	2	4	0	2
駐車場	11	7	4	0	0	1	0	1	1	1	0	3	2	1	1
屋外（自宅の敷地内）	35	22	13	0	1	4	2	4	4	8	6	3	2	1	0
屋内（自宅）	5	4	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1
屋内（自宅以外）	5	5	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	3	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0
その他	9	4	5	0	0	0	0	1	2	3	2	0	0	0	1

表 5_1_2. スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験〔製品×子供の性・年齢別〕

(5) スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の事故状況（製品別）

表 5_2 は製品別にけが及びヒヤリ・ハット経験の事故状況を比較した結果である。

「ころんだ・すべった」が 244 件と最も多く、次いで「物にぶつかった」が 36 件、「段差にひっかかった」が 29 件となっている。

(件)

	合計	ころんだ・すべった	物にぶつかった	段差にひっかかった	人にぶつかった	ころびそう・すべり	なつた	指を挟んだ	物にぶつかりそうに	足や手を車輪に巻き込んだ	その他
スケートボード類	348	244	36	29	16	11	10	2	0	0	0
スケートボード	176	112	26	16	10	4	8	0	0	0	0
キャスターボード	171	132	9	13	6	7	2	2	0	0	0
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

表 5_2. スケートボード類でのけが及びヒヤリ・ハット経験〔製品×事故状況別〕

(6) スケートボード類での詳細事例(抜粋)

No	製品	けが/ヒヤリ	性別・年齢	経験場所	内 容
1	スケートボード	けが	女兒 9 歳	保育園・幼稚園・学校等の敷地内	子どもがスケートボードで走行中、排水溝の溝に挟まって転んでしまった。
2	スケートボード	ヒヤリ	女兒 2 歳	屋外(自宅の敷地内)	前方からスケートボードに乗ってくる人がいてぶつかりそうになった。
3	スケートボード	ヒヤリ	女兒 3 歳	公道(歩道)	他の子供がスケボーに乗っていて、スレスレを攻めてきた。ただ歩いていた我が子にぶつかりそうになった。
4	スケートボード	ヒヤリ	女兒 8 歳	公道(車道)	バランスを崩し転びそうになったが、親がついていて支えたので転倒はしなかった。
5	スケートボード	ヒヤリ	女兒 8 歳	公道(車道)	まだ慣れていない頃に思い切り後ろに倒れて頭を打った可能性があり心配した。
6	スケートボード	ヒヤリ	男児 8 歳	公道(車道)	うまく方向転換を行えず、電信柱に衝突。
7	スケートボード	ヒヤリ	男児 9 歳	公園	公園のさか道でスピードが出過ぎて茂みに突っ込んで止まった。
8	キャスターボード	けが	女兒 8 歳	公道(歩道)	キャスターボードで段差で転倒して鎖骨を骨折した。
9	キャスターボード	けが	女兒 8 歳	公道(歩道)	道路わきの溝にはまり転倒した。おでこを5針ほど縫う裂傷を負った。
10	キャスターボード	けが	女兒 9 歳	公道(歩道)	キャスターボードに乗ってターンしようとした際に、マンホールの段差に引っかかって転倒した。
11	キャスターボード	けが	男児 5 歳	公園	公園で滑っていたら、道路に段差があり、歩く分には気にならない段差だが、キャスターボードではバランスを崩して倒れて、頭をぶつけた。
12	キャスターボード	けが	男児 9 歳	公道(歩道)	坂道で転倒し額を地面に打ちつけケガ、流血し泣きながら帰宅。頭部の為念のため総合病院を受診。CT等検査を受け異常無しとの診断で安心する。額の傷は深かったが大きくはなく医師の判断で縫わなかった。
13	キャスターボード	ヒヤリ	女兒 10 歳	屋外(自宅の敷地内)	ほんの少しの坂で勢いがついてしまい、止まりたい所で止まられずジャンプして降りようとしたら転びそうになった。
14	キャスターボード	ヒヤリ	女兒 7 歳	公園	練習中、降り方が悪く、ボードだけ前に滑って行ってしまい、後頭部を打った。
15	キャスターボード	ヒヤリ	女兒 9 歳	駐車場	ころんだときにボードを蹴りだしてしまい、止まっていた車にぶつかりかけた。
16	キャスターボード	ヒヤリ	男児 6 歳	公園	キャスターボードに乗っていたところバランスを崩し転倒した。その際に手をつき、しばらく手首が痛いようであった。
17	キャスターボード	ヒヤリ	男児 6 歳	公園	壁から手を放して進もうとしたところ、スケーターだけが前に行き、その場に取り残されるようになって転倒しそうになった。
18	キャスターボード	ヒヤリ	男児 7 歳	公園	出来るようになってきて、ヘルメットのみで肘当て、膝当てを外した時に派手にころんだ。

6. ローラースケート類に関するけが及びヒヤリ・ハット経験

(1) ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験

図 6_1 はローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験についてまとめた結果である。ローラースケート類で何らかの“けが及びヒヤリ・ハット経験がある”（「けがをしたことがある」+「けがをしそうになってヒヤリとしたことがある」）と回答した人は223人(7.4%)となった。そのうち、けがをしたことがある子供は74人(2.5%)となっている。

“けが及びヒヤリ・ハット経験はない”回答者は2,777人(92.6%)となっている。そのうち、「経験はないが危ないと感じている」割合は37.1%、「経験はなく、特に危ないとも思わない」割合は55.5%となっている。

ローラースケート類の所有状況別に見ると、所有者の方がヒヤリ・ハット経験の割合が多く、80人(41.7%)となっている。非所有者では”けが及びヒヤリ・ハット経験はない”回答者は2,665人(94.9%)と9割を超えている。

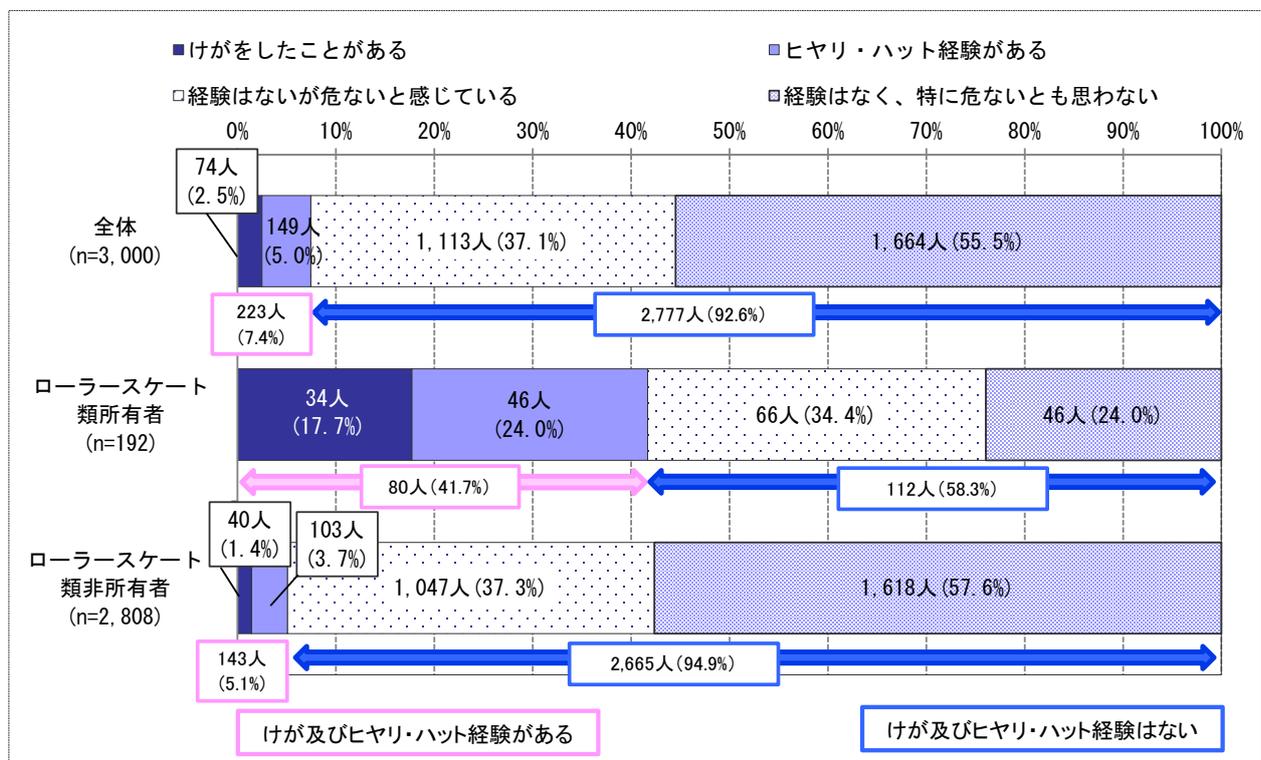


図 6_1. ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度

(2) ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）

図 6_2 はローラースケート類の製品別にヒヤリ・ハット経験及びけがの程度についてまとめた結果である。“けがをして医療機関にかかった”（「けがをして医療機関に入院した」+「けがをして医療機関を受診した」）は「ローラースケート」が 25 件と最も多く、次いで「インラインスケート」が 2 件となっている。

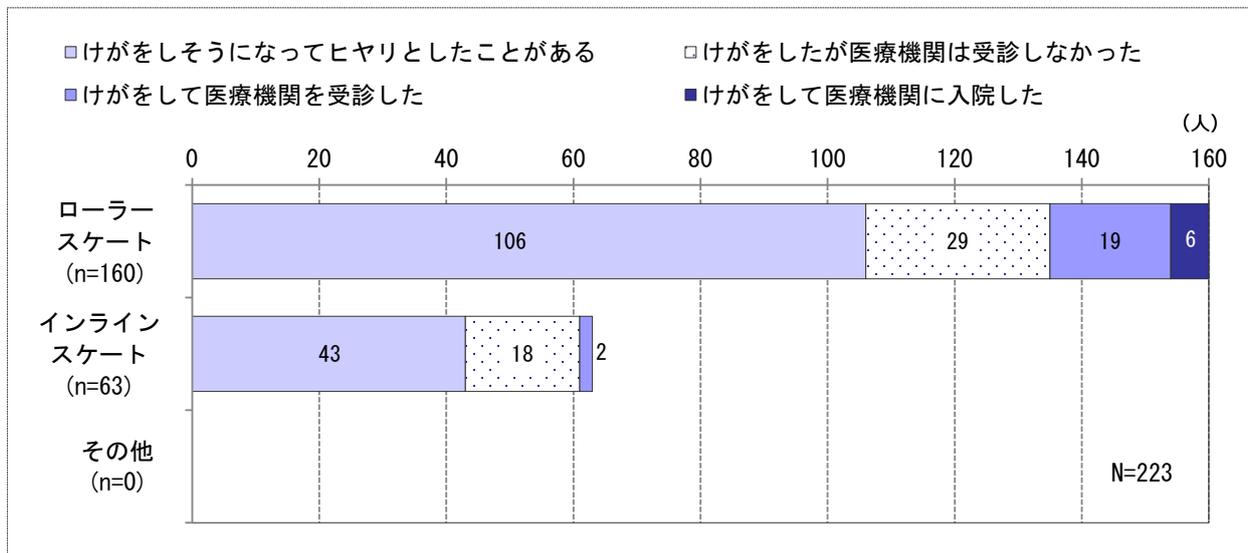


図 6_2. ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の程度〔製品別〕

(3) ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（製品別）

図 6_3 はローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験について、その原因となった製品・場所別に経験者数をまとめた結果である。

「ローラースケート」では「公園」でのけが及びヒヤリ・ハット経験が 96 件と最も多く、全体の 6 割を占めている。次いで「公道（歩道）」が 25 件、「公道（車道）」が 13 件となっている。

「インラインスケート」においても「公園」でのけが及びヒヤリ・ハット経験が 33 件と最も多く、5 割に達している。次いで「公道（歩道）」が 9 件、「公道（車道）」及び「屋外（自宅の敷地内）」が各 7 件となっている。

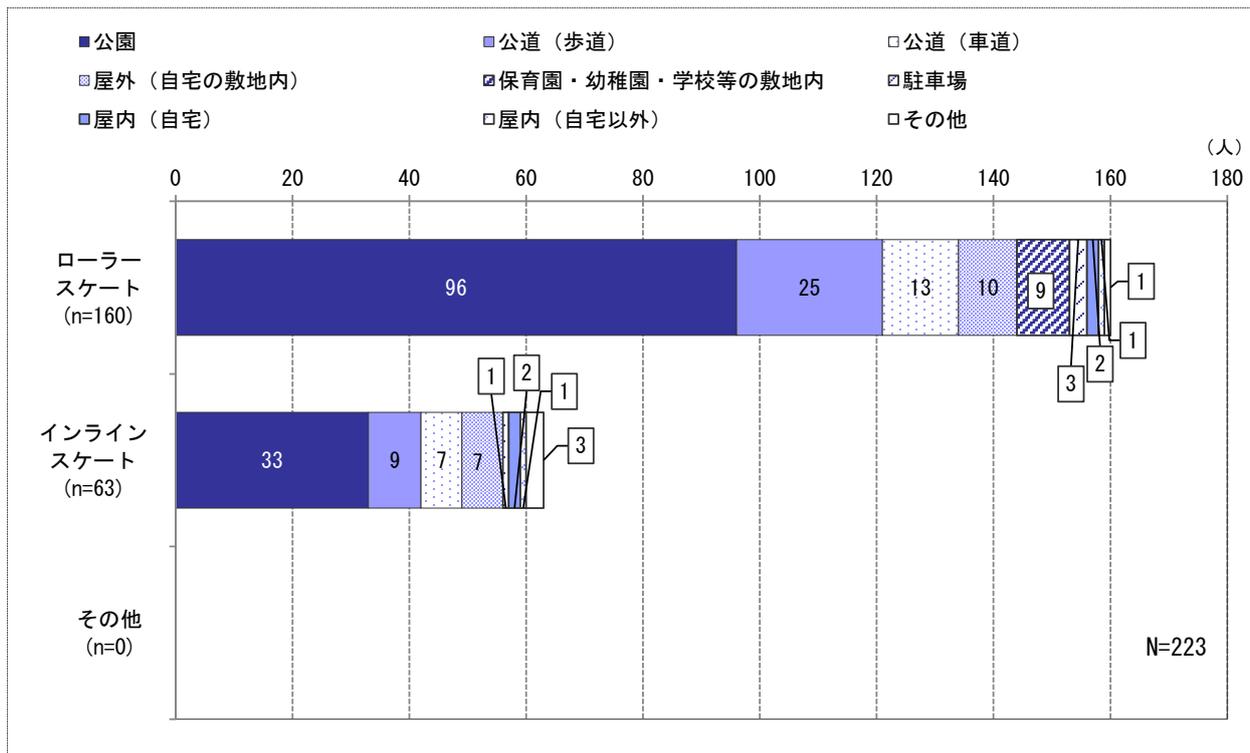


図 6_3. けが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所〔製品・場所別〕

(4) ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の発生場所（性・年齢別）

表6_1は子供の性・年齢別にけが及びヒヤリ・ハットを経験した製品・場所を比較した結果である。

「ローラースケート」では男児が73件で女児が87件、「インラインスケート」では男児が25件で女児が38件といずれも女児の事例数が男児のそれを上回っている。

「ローラースケート」では「公園」での事例が最も多く、5歳から9歳までの年齢において12件～15件と多くの事例が報告された。

「インラインスケート」においても「公園」での事例が多く、6歳で8件、7歳で6件となっている。

(件)

	合計	男児	女児	年齢別（男女計）											
				1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳 小学生
ローラースケート	160	73	87	2	7	9	15	23	24	26	23	16	11	1	3
公園	96	45	51	1	6	6	9	12	15	13	13	12	7	1	1
公道（歩道）	25	10	15	1	0	1	1	6	2	6	5	1	0	0	2
公道（車道）	13	6	7	0	0	0	2	0	4	2	2	2	1	0	0
駐車場	3	0	3	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
屋外（自宅の敷地内）	10	5	5	0	0	1	1	1	1	1	2	1	2	0	0
屋内（自宅）	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
屋内（自宅以外）	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	9	6	3	0	1	1	1	2	1	2	1	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
インラインスケート	63	25	38	0	1	1	3	6	14	12	8	8	7	2	1
公園	33	13	20	0	1	0	3	4	8	6	2	2	4	2	1
公道（歩道）	9	3	6	0	0	0	0	1	3	1	1	2	1	0	0
公道（車道）	7	2	5	0	0	1	0	0	2	2	0	1	1	0	0
駐車場	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
屋外（自宅の敷地内）	7	4	3	0	0	0	0	1	0	3	2	0	1	0	0
屋内（自宅）	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
屋内（自宅以外）	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0
【合計】	223	98	125	2	8	10	18	29	38	38	31	24	18	3	4
公園	129	58	71	1	7	6	12	16	23	19	15	14	11	3	2
公道（歩道）	34	13	21	1	0	1	1	7	5	7	6	3	1	0	2
公道（車道）	20	8	12	0	0	1	2	0	6	4	2	3	2	0	0
駐車場	4	0	4	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0
屋外（自宅の敷地内）	17	9	8	0	0	1	1	2	1	4	4	1	3	0	0
屋内（自宅）	4	2	2	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0
屋内（自宅以外）	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
保育園・幼稚園・学校等の敷地内	9	6	3	0	1	1	1	2	1	2	1	0	0	0	0
その他	4	2	2	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0

表6_1. ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験〔製品×子供の性・年齢別〕

(5) ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験の事故状況（製品別）

表 6_2 は製品別にけが及びヒヤリ・ハット経験の事故状況を比較した結果である。

「ころんだ・すべった」が 148 件と最も多く、次いで「段差にひっかかった」が 28 件、「物にぶつかった」が 19 件となっている。

(件)

	合計	ころんだ・すべった	段差にひっかかった	物にぶつかった	人にぶつかった	ころびそう・すべり	なつたにぶつかりそうに	込んだ足や手を車輪に巻き	なつたぶつかりそうに	指を挟んだ	その他
ローラースケート類	223	148	28	19	15	8	4	1	0	0	0
ローラースケート	160	103	17	17	14	5	3	1	0	0	0
インラインスケート	63	45	11	2	1	3	1	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 6_2. ローラースケート類でのけが及びヒヤリ・ハット経験〔製品×事故状況別〕

(6) ローラースケート類での詳細事例(抜粋)

No	製品	けが/ヒヤリ	性別・年齢	経験場所	内 容
1	ローラースケート	けが	女兒 5 歳	公園	公園でローラースケートで遊んでいた時に転んだ。足をひねって歩けなくなった。家に帰って湿布を付けたら翌日は問題なかった。
2	ローラースケート	けが	女兒 7 歳	公園	ローラースケートを履いている人同士ぶつかりそうになった。
3	ローラースケート	けが	女兒 8 歳	公園	公園でローラースケートを使用中にくろんで擦り傷ができた。
4	ローラースケート	けが	男児 7 歳	公園	スピードを出し、カーブを曲がる時にバランスを崩して転び、手と足を怪我した。
5	ローラースケート	けが	男児 9 歳	公園	スピードを出してカーブを曲がる時に転んで手と足を怪我した。
6	ローラースケート	ヒヤリ	女兒 2 歳	公園	ローラースケートをしているお姉ちゃんにぶつかった。足を引かれた。
7	ローラースケート	ヒヤリ	女兒 3 歳	公園	自分で勢いよく滑るあまり、そのままの勢いで大人に突っ込んだ。
8	ローラースケート	ヒヤリ	女兒 4 歳	公園	ほかの子ども真似をして無理にやりたがったので、転びそうになった。
9	ローラースケート	ヒヤリ	女兒 5 歳	公道(歩道)	ヘルメット・肘と膝のプロテクターをつけている状態で使用していたところ、バランスを崩してお尻から転びそうになり尻餅をつくところだった。
10	ローラースケート	ヒヤリ	女兒 5 歳	公園	使い始めてすぐのころにローラースケートの扱いに慣れていなく、滑って転んだ。
11	ローラースケート	ヒヤリ	女兒 6 歳	公園	友達と手をつなぎながら使用していて転び、他の子ども転びそうになった。
12	ローラースケート	ヒヤリ	男児 3 歳	公園	公園で遊んでいたところ、ローラースケートをしていた子がぶつかった。
13	インラインスケート	ヒヤリ	女兒 10 歳	屋外(自宅の敷地内)	乗り出しでうまくバランスが取れず後ろに倒れそうになった。幸い隣に掴まることのできるフェンスがあった。
14	インラインスケート	ヒヤリ	女兒 5 歳	公園	練習中に上手く滑ることが出来ず、転んでしまうことがあった。
15	インラインスケート	ヒヤリ	女兒 6 歳	公道(車道)	練習中に転び、しりもちをついたが、強く打ち付けたようでアザができた。
16	インラインスケート	ヒヤリ	女兒 7 歳	公道(歩道)	初めてだったので、慣れてなく後ろに倒れそうになった。
17	インラインスケート	ヒヤリ	女兒 9 歳	その他	バランスを崩して尻もちをついた。プロテクターをつけていたので大事には至らなかった。
18	インラインスケート	ヒヤリ	男児 5 歳	公園	他の子(小学校 3-4 年)に追突された。けがはお互いになかったが、知らない子だったので、ひどく焦った。

7. けが及びヒヤリ・ハット経験の報告・相談

(1) けが及びヒヤリ・ハット経験の報告相談（複数回答）

図 7_1 はけがやヒヤリ・ハット経験をしたときに報告や相談をしたかどうかについて製品類別に集計した結果である。

いずれの製品類においても「報告や相談はしていない」が最も多く、「自転車類」、「キックスクーター類」及び「スケートボード類」では8割、「ローラースケート類」では7割、「その他車輪付きスポーツ用品」においても5割を超えている。

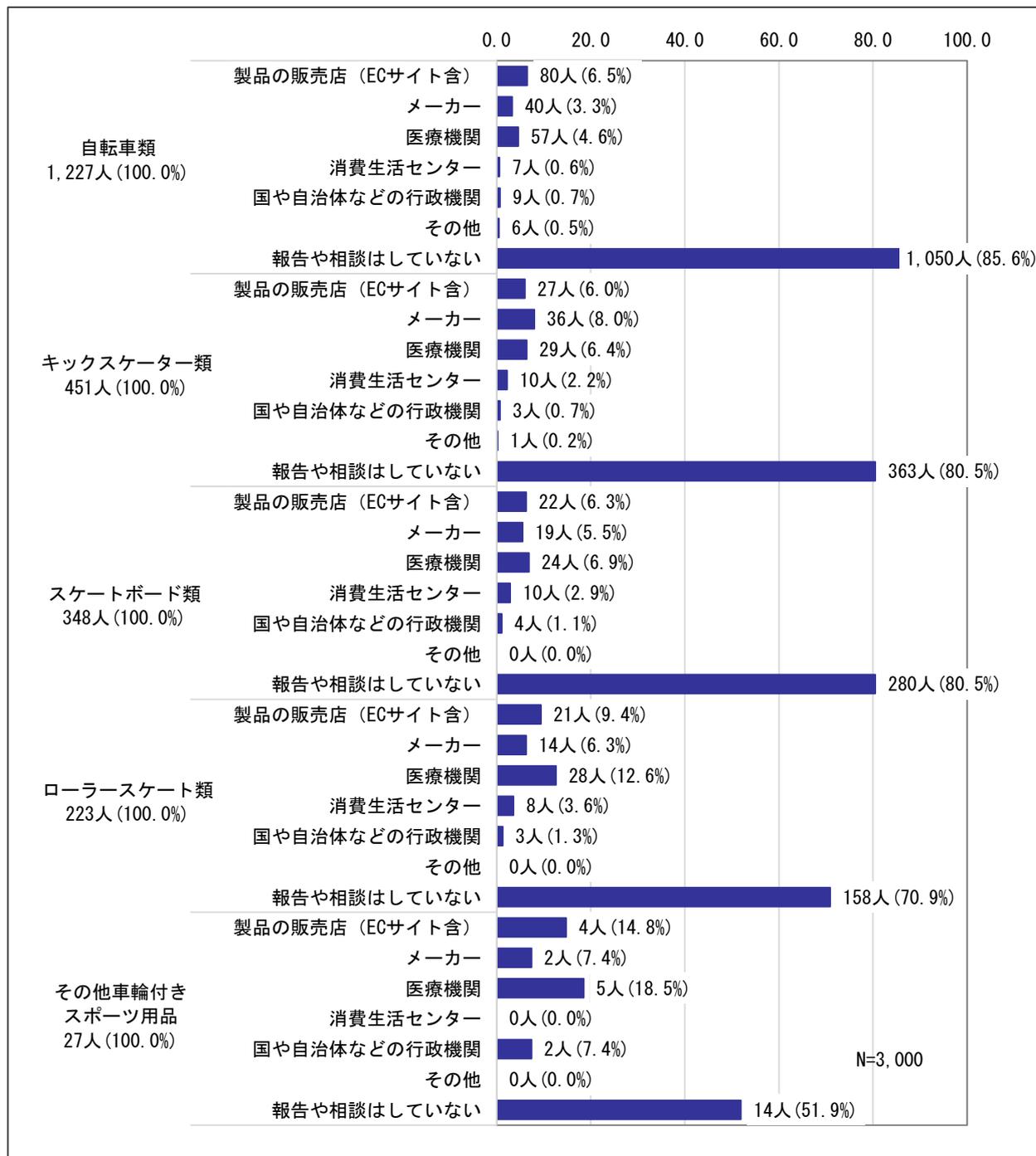


図 7_1. けが及びヒヤリ・ハット経験の報告相談〔製品類別〕

8. 車輪付きスポーツ用品購入前の確認事項

(1) 車輪付きスポーツ用品購入前の確認事項（複数回答）

図 8_1 は子供が車輪付きスポーツ用品を購入する前に確認していること集計した結果である。「製品サイズ」が53.0%と最も多く、次いで「製品の対象年齢」が41.3%、「製品の使用方法」が36.4%となっている。

「特に確認していることはない」との回答は9.7%で1割弱となっている。

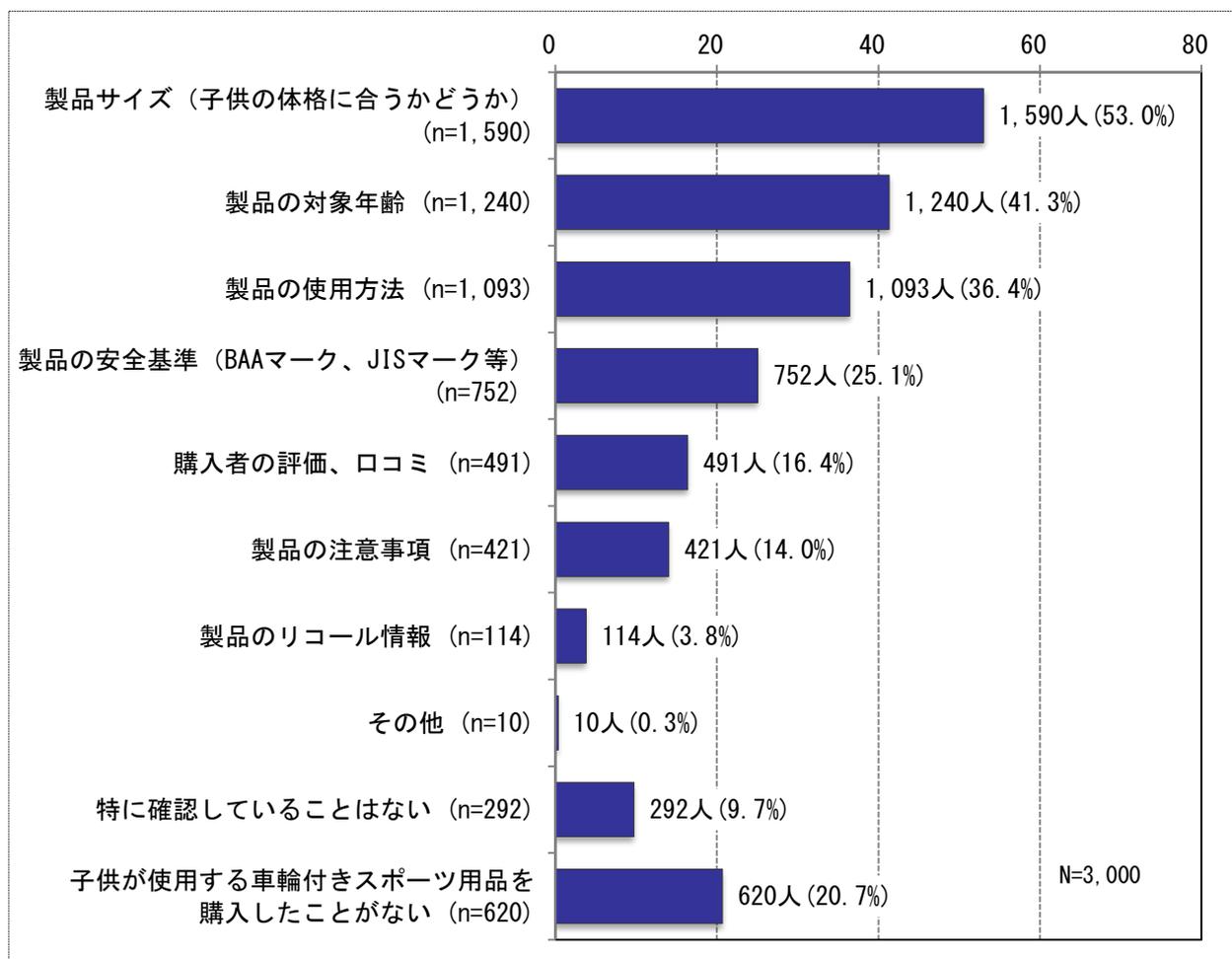


図 8_1. 車輪付きスポーツ用品購入前の確認事項〔全体〕

9. 車輪付きスポーツ用品使用前の注意

(1) 車輪付きスポーツ用品使用前の注意（複数回答）

図 9_1 は子供が使用する車輪付きスポーツ用品を購入したことがある回答者（2,380人）に対し、使用する前に子供に伝えていることを集計した結果である。「使用方法」が69.4%と最も多く、次いで「使用する場所」が68.2%、「交通ルール」が49.5%となっている。「特に何も伝えていない」との回答は7.5%であった。

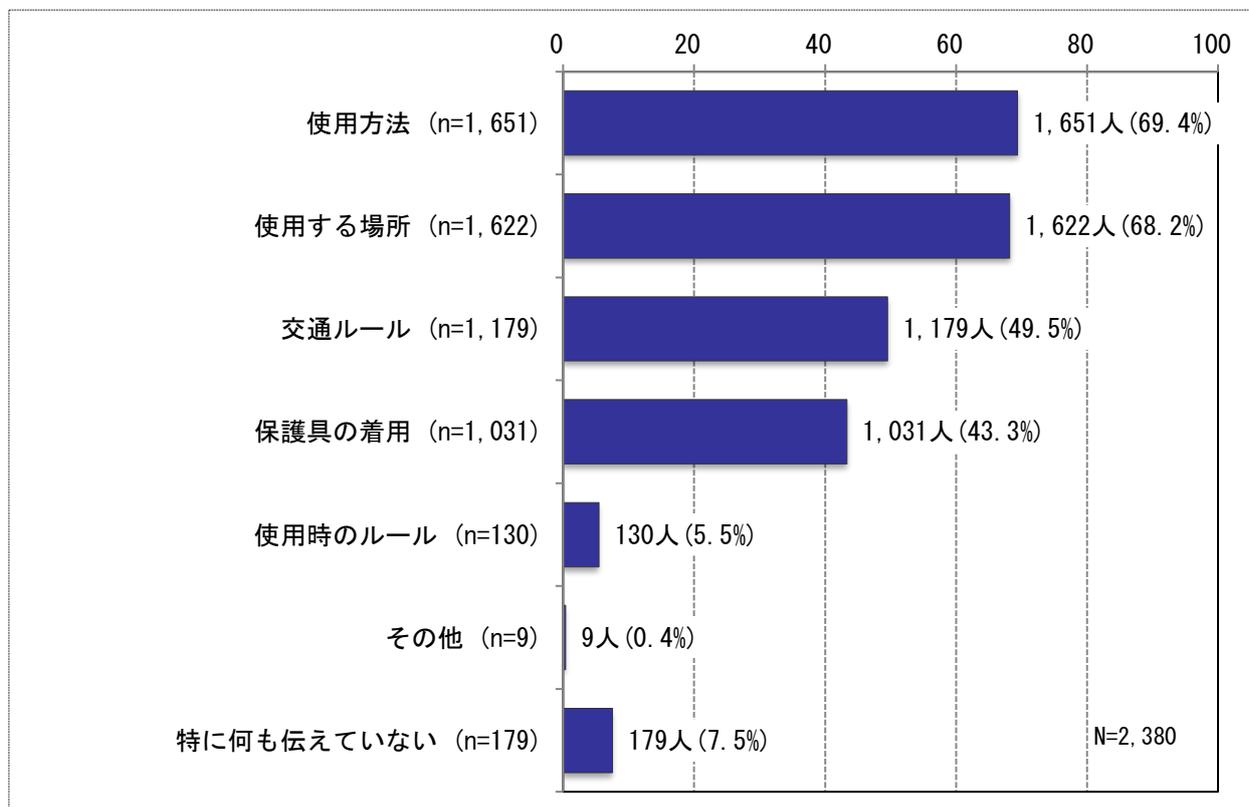


図 9_1. 車輪付きスポーツ用品使用前の注意

10. 子供のけがや事故を防ぐための工夫

(1) 子供のけがや事故を防ぐための工夫

子供のけがや事故を防ぐための工夫を自由回答で質問した結果、1,156件の回答を得た。図10_1は回答された内容についてまとめた結果である。

「見守る・付き添う」が29.9%と最も多く、次いで「ルールを教える」が19.5%、「保護具の着用・衣類の工夫」が16.1%、「注意喚起する」が16.0%となっている。

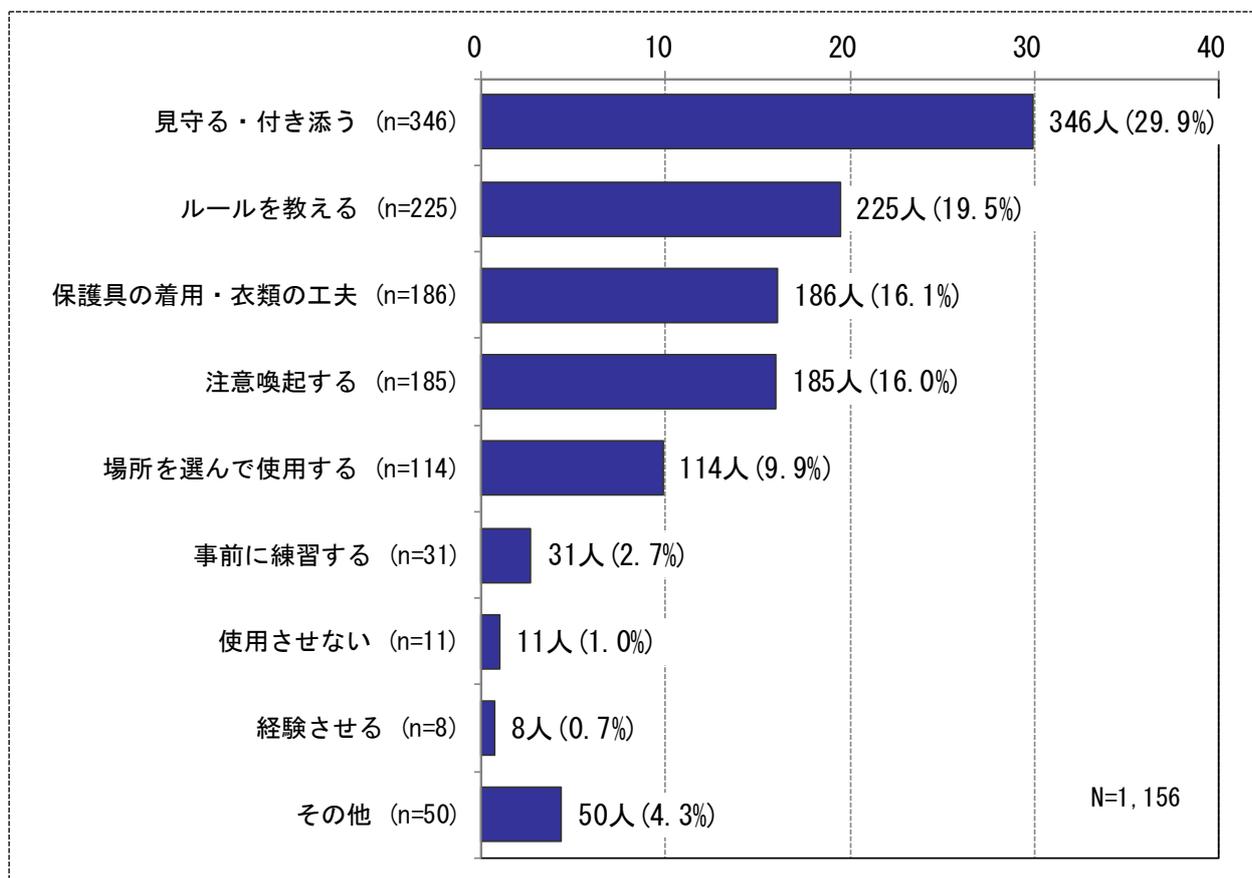


図 10_1. 子供のけがや事故を防ぐための工夫

(2) 子供のけがや事故を防ぐための工夫 (自由回答の抜粋)

No	性別	年齢	末子性別・年齢	内容
見守る・付き添う				
1	男性	40-44 歳	男児 5 歳	子供といるときは可能な限り目を離さないようにしていることと、外出する時は必ず手を繋いでまわりを注意しながら行動するように気をつけている。
2	女性	35-39 歳	女児 6 歳	とにかく 1 人で公道を出歩かせない。公園にも近所でも、登下校も一緒。子供には様々な危険があることを知らせて普段から話をしている。
3	女性	40-44 歳	女児 9 歳	使用する時に、出来る限り子どもだけではなく大人の目があるよう、又一緒に使用する、傍にいるなど、安全面に特に配慮しています。
4	女性	40-44 歳	男児 6 歳	周りをよく見る。駐車場で遊ばせない。滑ったり、死角になる場所に気をつけるよう伝える。外出時は子供を内側にして歩く。
5	女性	40-44 歳	男児 4 歳	その都度、注意し、何が悪かったか、どうすれば良かったかを伝えるようにしている。とにかく、目を離さない。
ルールを教える				
6	女性	35-39 歳	女児 7 歳	交通ルールを守ること、友達が先に行ってしまうと交差点では必ず止まる、広い道を通る、明るい道を通る
7	女性	40-44 歳	女児 8 歳	信号が青になっても左右を確認してから渡ることや、周りの音をよく聞いて車が来ることなどに常に意識をすること。
8	女性	40-44 歳	女児 10 歳	曲がる時・道を渡る時・人が居る時は、止まったり・スピードを落としたり確認するように教えている。暗い時(時間)は、必ずライトをつける、スピードを出しすぎない。
9	女性	45-49 歳	男児 9 歳	スピードを出さない、道路の端を運転する、方向転換の際は止まって前後左右を見る事を繰り返し教えました
10	女性	50-54 歳	男児 12 歳 (小学生)	横断歩道では必ず止まり左右前後を確認。スピードの調整 薄暗い時はライトをつける等。
11	女性	50-54 歳	男児 11 歳	日頃から道路標識(とまれ)や交差点を横断する際に気をつけること、死角の角を横断する際に人がいないか、車が出てこないかミラーの見方や、どこの視界が悪く危険な道なのかなど常に教えている。
保護具の着用・衣類の工夫				
12	男性	35-39 歳	男児 3 歳	ヘルメット等の防具を装着する。長ズボンや長袖の服を着て肌の露出を減らし、擦り傷のリスク低減を目指す。
13	男性	55-59 歳	男児 12 歳 (小学生)	ヘルメットを付けるように声掛け、夜はライトや反射板をつけさせる。一旦停止は必要。
14	女性	25-29 歳	女児 1 歳	必ずヘルメットをつけて遊ぶ。よそ見をしない、人のいる方向へ走らせないと約束をする。道路や歩道では乗らない
15	女性	30-34 歳	女児 2 歳	保育園の帰り道が既に暗いため、反射板やライトを身に付けて車や自転車から視認しやすくしている。
16	女性	40-44 歳	女児 11 歳	徒歩でも帽子をかぶらせる。運動する日にはハイソックスを履かせる。持ち物はなるべく反射材付きのものを選ぶ。
17	女性	45-49 歳	男児 10 歳	ヘルメットや防具をつけること、定期的と一緒に行って安全確認をしているかなど交通ルールを確認すること

No	性別	年齢	末子性別・ 年齢	内 容
注意喚起する				
18	女性	25-29 歳	男児 3 歳	危ないことをしたら、直後に今の行動はどうだったか、どんな危険があると思うか考える。
19	女性	30-34 歳	女児 3 歳	マンホールなど滑りやすいところ、段差、車が来るところ、死角が多いところなど、遊ぶときや歩いているときに常に声かけをしている。子供の視野が狭いことを意識して行動してる。
20	女性	35-39 歳	男児 11 歳	子どもの事故のニュースが報道されたときに、一緒に観て話をする。自分がけがをする分には自己責任だが、他人にけがをさせると親の責任にも、その人の人生にも影響が出るかもなのでとくに注意するよう伝えている。
21	女性	35-39 歳	女児 7 歳	危険を事前に予測できるように教えている。自分で自分を守れるように、どうなったら危険かをわかりやすく伝えている。
22	女性	45-49 歳	男児 12 歳 (小学生)	とにかく「怪我をする可能性があるもので遊んでいる、乗っていると怪我をする可能性がある」ということを伝えています。
場所を選んで使用する				
23	男性	35-39 歳	女児 7 歳	公道ではよほどの理由がない限り、自転車の運転はさせていない。どうしても乗りたい場合は公園に連れていき遊ばせる。事故の可能性を限りなくゼロにするため。
24	男性	45-49 歳	男児 8 歳	他人に迷惑かけない条件で購入した。歩道で使用させない。公園、河川敷、広い庭など安全な場所で使わせる。
25	男性	45-49 歳	女児 4 歳	なるべく人との接触がないところや車の往来がない場所を選ぶ。公園でも広めの公園や地面がコンクリートを避けたりする。
26	女性	25-29 歳	女児 2 歳	交通量が多いところでは絶対にやらせない。公園等や囲われた場所など限られた所のみ。
27	女性	30-34 歳	女児 1 歳	まだ操縦が上手くできずコンクリートの上では転んだ時に危ないので、芝生の上で遊ばせるようにしている。
事前に練習する				
28	男性	35-39 歳	男児 6 歳	保護具を利用してしばらくは親と一緒に練習する。
29	男性	45-49 歳	女児 6 歳	車通りの少ない場所や転んでも痛くないようなコンクリートじゃない場所で練習。
30	女性	30-34 歳	男児 7 歳	最初に親と一緒に練習をし、きちんと使用方法を教えている。
31	女性	45-49 歳	女児 4 歳	周りに人が居ないところで練習をするようにしています。
32	女性	45-49 歳	女児 9 歳	とにかくブレーキを徹底的に教える。ブレーキのないものは危ないときにどのように対処するかを徹底的に教える。

No	性別	年齢	末子性別・ 年齢	内 容
使用させない				
33	女性	20-24 歳	男児 2 歳	適切な使用法を守れる年齢まで買わない。
34	女性	40-44 歳	女兒 1 歳	怪我や事故が起こりそうな危ないものは買わない。
35	女性	40-44 歳	女兒 2 歳	危険なものは一定年齢までは完全に避ける。
経験させる				
36	男性	40-44 歳	男児 9 歳	経験。バランス感覚も転ばないと育たない。自分で制御できる能力がなければ咄嗟の時に対応できない。
37	男性	40-44 歳	男児 7 歳	むしろ軽く事故を経験させている。
38	男性	45-49 歳	女兒 6 歳	ある程度の怪我は仕方がない、痛い思いをして覚えることもある。

11. 公園でのヒヤリ・ハット経験

(1) 公園でのヒヤリ・ハット経験

公園でのけがやヒヤリ・ハット経験（車輪付きスポーツ用品以外も含む）を自由回答で質問した結果、931件の回答を得た。図11_1は回答された内容についてまとめた結果である。

「周りの人との衝突」が22.4%と最も多く、次いで「遊具（転倒・転落）」が17.6%、「転倒・転落」（遊具以外）が10.3%となっている。

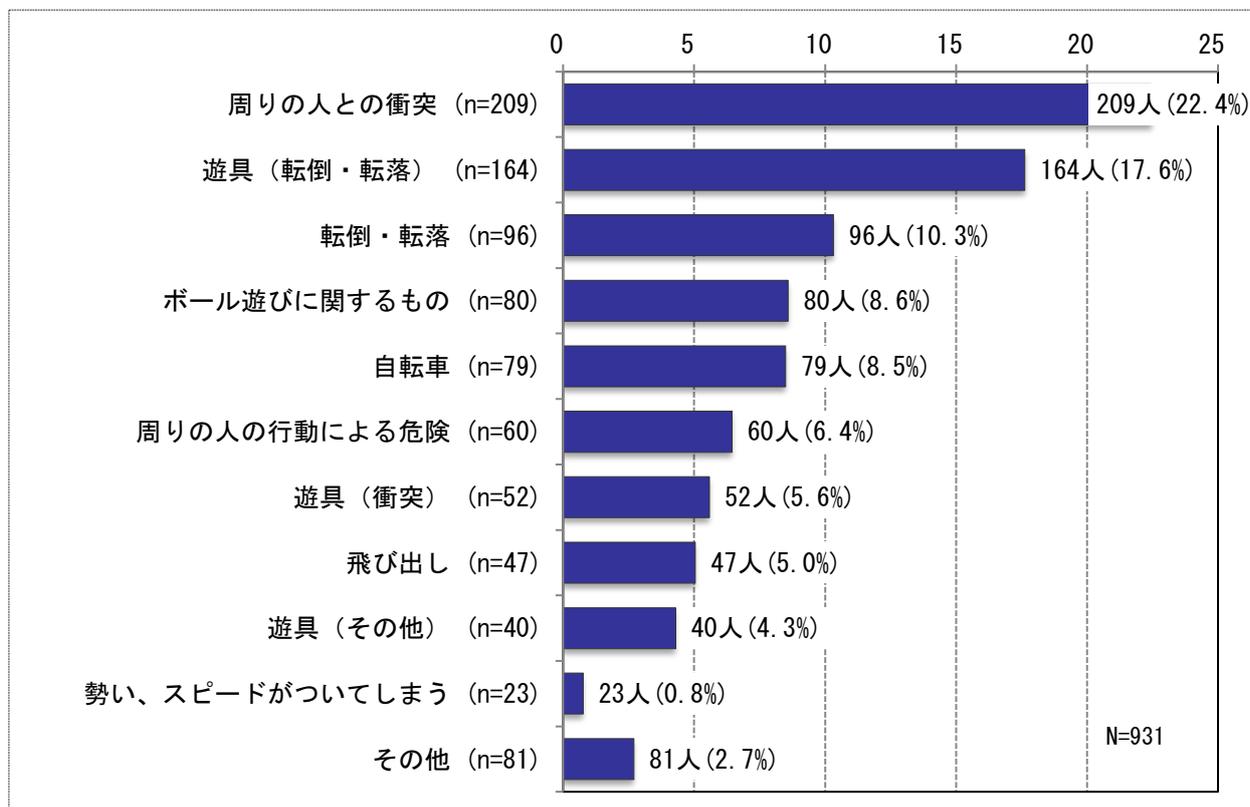


図11_1. 公園でのヒヤリ・ハット経験

(2) 公園でのヒヤリ・ハット経験（自由回答の抜粋）

No	性別	年齢	末子性別・年齢	内容
周りの人との衝突				
1	男性	45-49歳	男児8歳	子供がたくさん遊んでいる時に夢中になりすぎて周りが見えず別の子にぶつかりそうになってしまった。
2	女性	30-34歳	女児3歳	公園でスケーターを使用している時に小さい子供がいて、自分の子供が小さい子供にぶつかってしまうのではないかと思ったことがある。
3	女性	35-39歳	男児2歳	ストライダーを練習中に、上手い子がスピードを出してすぐ脇を通り過ぎた時にヒヤッとした。
4	女性	35-39歳	女児2歳	自分の子どもはまだないが、他の子どもはスピードが出ていたり、車に気づかずにぶつかりそうになっていたりするのを見てヒヤッとしたことがある
5	女性	35-39歳	男児8歳	たくさんの人が遊んでいてクロスするタイミングが危険。各々の遊びに夢中になっていて周りが見えていないので怖い。
6	女性	40-44歳	女児5歳	狭くて人の多いところで小さい子がストライダーをやっていると、少し危ないと思う。
遊具（転倒・転落）				
7	女性	25-29歳	女児2歳	遊具に登り、柵の無いところで後ろを気にせず後ずさりをして落ちそうになった。
8	女性	30-34歳	女児2歳	滑り台で勢い良く滑ってしまって止まらず落ちたり、バランスを崩して顔から落ちた事がある。
9	女性	35-39歳	女児10歳	幼稚園生の頃、滑り台の滑る所の上にたったまま、よその子と、滑り台の滑る順番などで揉めたりして、そのまま落ちてしまわないかヒヤヒヤした事がある。
10	女性	35-39歳	男児2歳	滑り台などの遊具に登り、高いところでバランスを崩したり、踏み外しかけて落ちそうになった時。
11	女性	35-39歳	男児6歳	縄を登っていく遊具で、降りる際に少し高い場所から転落。お尻をうち怪我は無かったがヒヤッとした。
転倒・転落				
12	男性	35-39歳	女児2歳	なにかに掴まっても、バランスを崩しそうになること。
13	男性	40-44歳	男児10歳	大きい石とか、道のデコボコで転倒しそうになった。
14	男性	45-49歳	女児7歳	よそ見をして転びそうや他人にぶつかりそうになったとき。
15	女性	40-44歳	女児8歳	一緒に遊んでいた友達と手を繋いだまま、転んだときに、ヒヤヒヤした。
16	女性	45-49歳	女児5歳	ジャンプをする遊び場で、他児の揺れでバランスを崩して娘がバランスを崩して倒れた時（骨折しないかハラハラした）。

No	性別	年齢	末子性別・年齢	内容
ボール遊びに関するもの				
17	男性	40-44 歳	男児 8 歳	まだ小さかったころ、年上の子供たちがボール以外のものでキャッチボールをしていて、うちの子以外にもあたりそうになっていて危なかったです。
18	女性	30-34 歳	女児 4 歳	サッカーやドッジボールをしている小学生のそばに走って近づいてしまい、ボールがぶつかりそうになったり、小学生とぶつかりそうになった。
19	女性	40-44 歳	女児 9 歳	子供が小さかった頃、少年野球の子供がキャッチボールの練習をしている中を走って行ってしまい、スピードのあるボールに当たりそうになったことがある。
20	女性	45-49 歳	男児 11 歳	サッカーをしている子どもがいて、強く蹴ったボールが子どもにぶつかりそうになった。
21	女性	45-49 歳	男児 10 歳	ボールが公園外に出てしまった時に子供が慌てて取りに行こうとすること。車の往来が怖い。
自転車				
22	男性	40-44 歳	男児 3 歳	他の子どもが公園でよそ見しながら自転車に乗っていた所、自分の子どもに突っ込んで来た。軽傷で済んだが、とても危なかった。
23	女性	30-34 歳	男児 1 歳	子供たちと散歩をしていた時、携帯を使いながら自転車に乗っている学生の子がいてぶつかりそうになった。
24	女性	35-39 歳	女児 5 歳	遊んでいる近くで自転車やストライダーを使用している人がいて接触しそうになったこと。
25	女性	35-39 歳	男児 4 歳	周りが見えてなく自転車や遊びに夢中になって人や物にぶつかりそうになった時。
26	女性	40-44 歳	女児 9 歳	走って遊んでいるときに公園の外まで出てしまうときにちょうど車や自転車が通りかかるとき。
周りの人の行動による危険				
27	女性	25-29 歳	男児 3 歳	自分の子供より年齢の大きい子が全力で走り回ったり、遊具を危険な使い方をしている時にぶつかりそうになってヒヤッとすることはある。
28	女性	25-29 歳	女児 1 歳	公園の遊具上で自身の子供よりも年上の子供が追いかけっこをしており、ぶつかって自身の子供が遊具から転落しそうになった。それ以来休日や夕方等の大きい子が多い時間帯等には公園に行かなくなった。
29	女性	30-34 歳	女児 3 歳	公園で一輪車をしている小学生と子どもがぶつかりそうになると時にヒヤッとした。子どもが小さいため、滑り台やブランコなど遊具の近くで一輪車や自転車に乗っていると不安になる。
30	女性	35-39 歳	女児 5 歳	3歳の時、年上の子に押されて遊具の上から落ちた。下が砂だったからあまり怪我をしなかったが、頭を打っていたらと思うとヒヤッとした。
31	女性	45-49 歳	男児 5 歳	小学校高学年の子どもたちが追いかけっこをしていて全力で走っているの、子どもにぶつかりそうでヒヤリとする。

No	性別	年齢	末子性別・年齢	内容
遊具（衝突）				
32	男性	35-39 歳	女兒 7 歳	視野が狭い、バランス感覚がまだ十分に身につけていないので、転倒や遊具に体をぶつけることがあるので常にヒヤリとさせられる。
33	男性	40-44 歳	女兒 10 歳	ブランコで小さな子が飛び込んできてブランコを漕いでる子とぶつかりそうになった。
34	女性	35-39 歳	女兒 11 歳	はしごがある遊具は前後がつまっていると、とても危険で、前の子供の靴が後の子の顔にぶつかる怪我を何度か見た。
35	女性	40-44 歳	男児 12 歳 (小学生)	すべり台で上から滑ってきた子がいるのに、降り口から子供が登ろうとした。
36	女性	50-54 歳	男児 11 歳	ブランコを漕いでいる時にすぐそばを子供が横断してぶつかりそうになった。
飛び出し				
37	男性	40-44 歳	男児 5 歳	子供が急に手を離してひとりで走っていってしまうことがあり、道路の近くだったのでヒヤッとした。
38	男性	40-44 歳	女兒 5 歳	子どもは飛びだしてくるので車で通過するときは注意する。
39	男性	45-49 歳	女兒 12 歳 (小学生)	公園の外にいきなり飛び出しそうになったことがある。
遊具（その他）				
40	男性	30-34 歳	男児 1 歳	扉や遊具の接続部分に指を挟みそうになった。
41	女性	25-29 歳	男児 5 歳	変な遊び方をするのを見たとき。滑り台で頭から滑ろうとしたとか。
42	女性	30-34 歳	男児 4 歳	滑り台の階段を下りようとしてジャンプしたが、着地に失敗した。
43	女性	35-39 歳	女兒 7 歳	ぐるぐる回る遊具ではやくまわしすぎて足がもつれる。
44	女性	40-44 歳	男児 5 歳	子供の対象年齢以上の遊具でとても高いところまで行ってしまった。
勢い、スピードがついてしまう				
45	男性	50-54 歳	女兒 4 歳	スロープをものすごいスピードで降りてしまって追いつかなくなりました。どこにも衝突をすることは無かった。
46	女性	30-34 歳	女兒 6 歳	スピードが出過ぎて、怪我をさせてしまいそうになること。
47	女性	50-54 歳	女兒 10 歳	坂を下ってスピードを楽しんでいて車が来てヒヤッとした。

Ⅲ まとめ

今回の調査対象である、公園等で使用する車輪のあるスポーツ用品（自転車類、キックスケーター類、スケートボード類、ローラースケート類など）のうち、自転車（自転車、補助輪付き自転車）の他は遊具となるため、原則として道路（車道・歩道）で使用できません。

しかし、今回の調査結果では、遊具扱いの製品による車道・歩道でのけがやヒヤリ・ハット経験が多く寄せられました。製品の使用方法、使用できる場所、交通ルールをお子さんと一緒に確認し、適切に使用しましょう。また、使用が認められた場所でも、転ぶ・すべる、人や物にぶつかる、坂道や段差での転倒によるけがや、ヒヤリ・ハット経験事例が多く見られました。こうした事例では、保護具を適切に着用することにより、けがを軽減できるため、保護者の方からお子さんへ着用による安全性を十分に伝え、着用を習慣づけることが重要です。

特に自転車については、道路交通法（第63条の11）において「児童又は幼児を保護する責任のある者は、児童又は幼児を自転車に乗車させるときは、当該児童又は幼児に乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない」とされ、「自転車の運転者等の遵守事項」となっております。なお、令和5年4月1日より、自転車を運転するすべての人に乗車用ヘルメットを着用する努力義務が課されることになりましたので、保護者の方も、お子さんと一緒に乗車用ヘルメットの着用を努めましょう。

また、製品を提供する事業者等におかれては、使用者の安全を確保するため、危害及びヒヤリ・ハット経験の事例や保護者等の要望を注視し、事故防止に留意して製品を開発するとともに、提供・販売する際は、安全性、性能等に加え、使用上の注意や法令の内容について説明を行うことが重要と考えます。

（参考）公園等で使用する車輪のあるスポーツ用品の道路の通行と保護具の着用について

	道路の通行		保護具の着用	
	道路（車道）	道路（歩道）	ヘルメット	プロテクター
自転車	○	場合により○ ^{※1}	着用努力義務	
自転車 （13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者、身体の不自由な人が自転車を運転しているとき。）	○	○	着用努力義務	
補助輪付き自転車 （13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者、身体の不自由な人が自転車を運転しているとき。）	○	○	着用努力義務	
ペダル無し二輪遊具	×	×	推奨	推奨
小児用三輪車	×	○歩行者の扱い ^{※2}	△ ^{※3}	
一輪車	×	×	推奨	推奨
キックスケーター類	×	×	推奨	推奨
スケートボード類	×	×	推奨	推奨
ローラースケート類	×	×	推奨	推奨

※1 自転車は、車道の左側通行が原則であり、歩道は例外的に通行することができます。

歩道を通行できるのは

- ・道路標識等で指定された場合
- ・運転者が13歳未満や70歳以上の高齢者や身体の不自由な人の場合
- ・車道又は交通の状況から見てやむをえない場合

等です。

※2 次の人の交通規則は、歩行者と同じです。（交通の方法に関する教則（国家公安委員会告示））

- ・三輪車などの小児用の車を通行させている人

※3 交通規則としては歩行者と同じであるが、三輪車からの転倒・転落時のけがを防ぐため、三輪車に乗れるようになる1歳前後からの着用を推奨（注：推奨月齢に関しては、子供の成長により異なる）

IV. アンケート調査内容

子供の乗り物に関するアンケート

A1 あなたの居住地を教えてください。【単一回答】

以下より選択 ▾

A2 あなたの年齢を教えてください。

歳

A3 あなたの性別を教えてください。【単一回答】

- 男性
- 女性
- その他
- 回答したくない

A4 あなたは同居しているお子さんがいますか。お子さんの人数を教えてください。【単一回答】

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人以上

A5 同居しているお子さんの性別、年齢を教えてください。【複数回答可】		
	男児	女児
1歳未満	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12歳 (小学生)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12歳 (中学生)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13歳以上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q1

同居しているお子さんは車輪付きスポーツ用品*を所有していますか。以下より所有しているものをすべてお選びください。*本調査において「車輪付きスポーツ用品」とは自転車、キックスケーターやスケートボード等、車輪がついた運動用具を指します。【複数回答可】

<自転車類>



<キックスケーター類>



<スケートボード類>



<ローラースケート類>



- 自転車類（自転車、補助輪付き自転車、ペダル無し二輪遊具、三輪車、一輪車 等）
 自転車 補助輪付き自転車 ペダル無し二輪遊具 三輪車 一輪車 その他（
 _____）
- キックスケーター類（二輪式、三輪式 等）
 二輪式 三輪式 その他（ _____ ）
- スケートボード類（スケートボード、キャストボード 等）
 スケートボード キャスターボード その他（ _____ ）
- ローラースケート類（ローラースケート、インラインスケート 等）
 ローラースケート インラインスケート その他（ _____ ）
- その他車輪付きスポーツ用品
 （上記以外の車輪のあるスポーツ用品）（具体的に： _____ ）
- 上記にあてはまるものはない

Q2	所有している車輪付きスポーツ用品について、どこで購入しましたか。以下よりあてはまるものをそれぞれ1つお選びください。 ※同じ製品を複数台所有している場合は最も最近購入したものについて回答してください。【単一回答】				
	自転車類	キックスケーター類	スケートボード類	ローラースケート類	その他
■実店舗					
自転車専門店	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ホームセンター	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
家電量販店（ビックカメラ、ヨドバシカメラ等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
スポーツ用品店	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
総合スーパーマーケット	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
百貨店	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
玩具店（トイザラス、ベビーザラス等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
赤ちゃん用品店（西松屋、赤ちゃん本舗等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他	<input type="radio"/> []	<input type="radio"/> []	<input type="radio"/> []	<input type="radio"/> []	<input type="radio"/> []
■インターネット通販					
総合インターネットモール（Amazon、楽天市場、Yahooショッピング等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネットショップ（自転車専門店）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネットショップ（ホームセンター）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネットショップ（家電量販店）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネットショップ（玩具店：トイザラス、ベビーザラス等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インターネットショップ（赤ちゃん用品店：西松屋、赤ちゃん本舗等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他インターネットショップ	<input type="radio"/> []	<input type="radio"/> []	<input type="radio"/> []	<input type="radio"/> []	<input type="radio"/> []
上記以外その他	<input type="radio"/> []	<input type="radio"/> []	<input type="radio"/> []	<input type="radio"/> []	<input type="radio"/> []

Q3 所有している車輪付きスポーツ用品を使用する際に保護具を付けていますか。付けている保護具についてあてはまるものを全てお選びください。【複数回答可】					
	ヘルメット	プロテクター(ひざ)	プロテクター(ひじ)	その他	保護具を付けていない
自転車類 (自転車、補助輪付き自転車、ペダル無し二輪遊具、三輪車、一輪車 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/>
キックスケーター類 (二輪式、三輪式 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/>
スケートボード類 (スケートボード、カスターボード 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/>
ローラースケート類 (ローラースケート、インラインスケート 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/>
その他車輪付きスポーツ用品 (上記以外の車輪のあるスポーツ用品)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/>

●ここからはお子さんの車輪付きスポーツ用品に関するけが及びヒヤリ・ハットの経験についてお伺いします。

Q4	<p>あなたのお子さんは車輪付きスポーツ用品でけがをしたり、けがをしそうになってヒヤリとした経験はありますか。</p> <p>同じ製品で複数の経験がある場合、最も危害の程度が大きい重例についてお答えください。</p> <p>お子さんが使用している場合だけでなく、他の人が使用しているときに巻き込まれた場合も含みます。</p> <p>※お子さんが1歳～12歳（中学入学前まで）の経験を記入してください。【単一回答】</p>				
		けがをしたことがある	けがをしそうになってヒヤリとしたことがある	けがをしたりヒヤリとした経験はないが危ないと感じている	けがをしたりヒヤリとした経験はなく、特に危ないとも思わない
自転車類 (自転車、補助輪付き自転車、ペダル無し二輪遊具、三輪車、一輪車 等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
キックスクーター類 (二輪式、三輪式 等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
スケートボード類 (スケートボード、キャスターボード 等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
ローラースケート類 (ローラースケート、インラインスケート 等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
その他車輪付きスポーツ用品 (上記以外の車輪のあるスポーツ用品)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	



Q5	<p>Q4で「1.けがをしたことがある」と回答した方にお聞きします。 その経験でのお子さんのけがの程度はどのようなものでしたか。あてはまるものをお選びください。 【単一回答】</p>		
	けがをして医療機関に入院した	けがをして医療機関を受診した	けがをしたが医療機関は受診しなかった
自転車類 (自転車、補助輪付き自転車、ペダル無し二輪遊具、三輪車、一輪車 等)	○	○	○
キックスケーター類 (二輪式、三輪式 等)	○	○	○
スケートボード類 (スケートボード、キャスターボード 等)	○	○	○
ローラースケート類 (ローラースケート、インラインスケート 等)	○	○	○
その他車輪付きスポーツ用品 (上記以外の車輪のあるスポーツ用品)	○	○	○

Q6

お子さんが自転車類で「けがをした、しそようになった」経験についてお聞きします。
その時の経験の詳細を、記入例を参考に教えてください。
同じ製品で複数の経験がある場合、最も危害の程度が大きい事例についてお答えください。



【記入例1】

- (1)製品名称：三輪車
- (2)経験場所：公道（歩道）
- (3)事故の状況：ころんだ・すべった
- (4)事故の詳細：手押し棒付き三輪車に子どもを乗せて、保護者が手押し棒を押しながら方向転換をしたところ、前輪が横向きのままロックし、子どもが転倒し手を擦りむいた。

【記入例2】

- (1)製品名称：自転車
- (2)経験場所：公道
- (3)事故の状況：ころんだ・すべった
- (4)事故の詳細：子どもが自転車で走行中、マンホールのふたで滑って転倒し、手とひざを強く打った。

【記入例3】

- (1)製品名称：ペダル無し二輪遊具
- (2)経験場所：公園
- (3)事故の状況：その他（ぶつかりそうになった）
- (4)事故の詳細：子どもが歩いていたところへ、他の子どもがペダル無し二輪遊具（ストライダー）で坂道を下りてきて、ぶつかりそうになった。

(1) 製品名称

以下より選択 ▼

(2) 経験場所

以下より選択 ▼

(3) 事故の状況

以下より選択 ▼

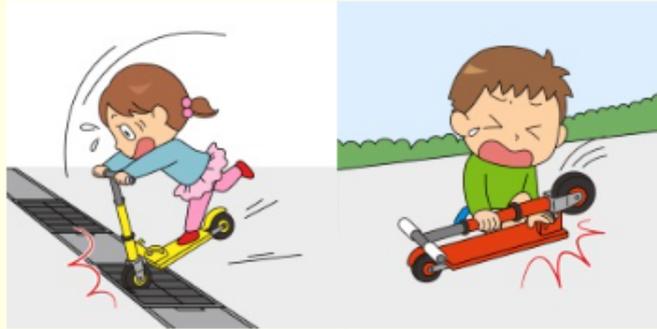
(4) 事故の詳細

(5) その時のお子さんの年齢・性別を教えてください。

以下より選択 ▼

Q7

お子さんがキックスケーター類で「けがをした、しそうになった」経験についてお聞きます。その時の経験の詳細を、記入例を参考に教えてください。同じ製品で複数の経験がある場合、最も危害の程度が大きい事例についてお答えください。



【記入例1】

- (1)製品名称：二輪式キックスケーター
- (2)経験場所：公道（車道）
- (3)事故の状況：ころんだ・すべった
- (4)事故の詳細：子どもが友達と一緒にキックスケーターで遊んでいたところ、側溝に前輪がひっかかり、前に倒れて歯を強打。病院を受診した。

【記入例2】

- (1)製品名称：三輪式キックスケーター
- (2)経験場所：屋内（自宅）
- (3)事故の状況：指を挟んだ
- (4)事故の詳細：キックスケーターを折り畳んで収納しようとしたところ、手をはさんで血豆ができた。

(1) 製品名称

以下より選択 ▼

(2) 経験場所

以下より選択 ▼

(3) 事故の状況

以下より選択 ▼

(4) 事故の詳細

(5) その時のお子さんの年齢・性別を教えてください。

以下より選択 ▼

Q8

お子さんがスケートボード類で「けがをした、しそうになった」経験についてお聞きします。その時の経験の詳細を、記入例を参考に教えてください。
同じ製品で複数の経験がある場合、最も危害の程度が大きい事例についてお答えください。



【記入例1】

- (1)製品名称：スケートボード
- (2)経験場所：公道（車道）
- (3)事故の状況：物にぶつかった
- (4)事故の詳細：友達の自転車の後ろにつかまって、スケートボードに乗っていたところ、スピードが出すぎて止まることができず壁に衝突した。おでこを打ち付けてたんこぶができた。

【記入例2】

- (1)製品名称：キャスターボード（ブレイブボード・リップスティック等）
- (2)経験場所：公園
- (3)事故の状況：ころんだ・すべった
- (4)事故の詳細：ブレイブボードに乗って遊んでいたところ、後方へ転倒し後頭部を強打。翌日も体調がすぐれないため病院に行ったところ脳震盪の疑いで入院となった。

(1) 製品名称

以下より選択 ▼

(2) 経験場所

以下より選択 ▼

(3) 事故の状況

以下より選択 ▼

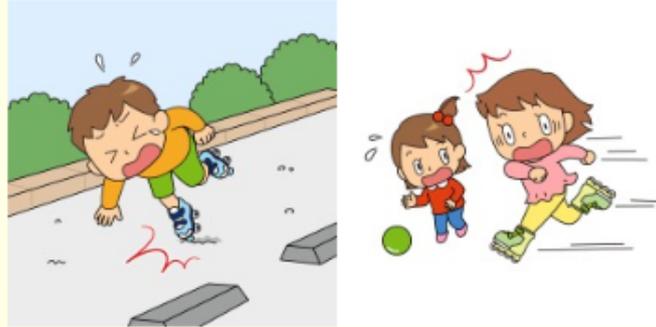
(4) 事故の詳細

(5) その時のお子さんの年齢・性別を教えてください。

以下より選択 ▼

Q9

お子さんがローラースケート類で「けがをした、しそうになった」経験についてお聞きます。その時の経験の詳細を、記入例を参考に教えてください。
同じ製品で複数の経験がある場合、最も危害の程度が大きい事例についてお答えください。



【記入例1】

- (1)製品名称：ローラースケート
- (2)経験場所：公道（歩道）
- (3)事故の状況：ころんだ・すべった
- (4)事故の詳細：ローラースケートで友達の家に向かっていたところ、アスファルトの凹凸に引っかかりバランスを崩して転倒。手をついたことで手首をねんざした。

【記入例2】

- (1)製品名称：ローラースケート
- (2)経験場所：公園
- (3)事故の状況：人にぶつかった
- (4)事故の詳細：子どもを連れて公園で遊ばせていたところ、子どもがローラースケートで鬼ごっこをしている小学生にぶつかられた。けがはしなかったがとても危険を感じた。

(1) 製品名称

以下より選択 ▼

(2) 経験場所

以下より選択 ▼

(3) 事故の状況

以下より選択 ▼

(4) 事故の詳細

(5) その時のお子さんの年齢・性別を教えてください。

以下より選択 ▼

Q10 お子さんがその他車輪付きスポーツ用品で「けがをした、しそうになった」経験についてお聞きします。その時の経験の詳細を、記入例を参考に教えてください。
 同じ製品で複数の経験がある場合、最も危害の程度が大きい事例についてお答えください。

(1) 製品名称

(2) 経験場所

(3) 事故の状況

(4) 事故の詳細

(5) その時のお子さんの年齢・性別を教えてください。

Q11 あなたはお子さんが使用する車輪付きスポーツ用品でけがをしたり、しそうになった時にそのことについてどこかに報告または相談をされましたか。あてはまるものを全てお選びください。【複数回答可】

	製品の販売店 (ECサイトを含む)	メーカー	医療機関	消費生活センター	国や自治体などの行政機関 (消費生活センター以外)	その他	報告や相談はしていない
自転車類 (自転車、補助輪付き自転車、ペダル無し二輪遊具、三輪車、一輪車 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>				
キックスケーター類 (二輪式、三輪式 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>				
スケートボード類 (スケートボード、キャスターボード 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>				
ローラースケート類 (ローラースケート、インラインスケート 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>				
その他車輪付きスポーツ用品 (上記以外の車輪のあるスポーツ用品)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>				

Q12

あなたはお子さんが使用する車輪付きスポーツ用品を購入する前に確認していることがありますか。あてはまるものを全てお選びください。【複数回答可】



- 製品の使用方法
- 製品の対象年齢
- 製品サイズ（子供の体格に合うかどうか）
- 製品の安全基準（BAAマーク、JISマーク 等）
- 製品の注意事項
- 製品のリコール情報
- 購入者の評価、口コミ
- その他（具体的に： ）
- 特に確認していることはない
- 子供が使用する車輪付きスポーツ用品を購入したことがない

Q13

あなたはお子さんが車輪付きスポーツ用品を使用する前に、お子さんに伝えていることがありますか。以下よりあてはまるものを全てお選びください。【複数回答可】



- 使用方法
- 使用する場所
- 保護具の着用
- 使用時のルール（具体的に： ）
- 交通ルール
- その他（具体的に： ）
- 特に何も伝えていない

Q14	あなたがお子さんのけがや事故を防ぐために工夫していることがありましたら教えてください。（車輪付きスポーツ用品と関係のない経験を含みます） ※何もない方は「なし」と記入してください。
<input type="text"/>	

Q15	公園で子供が遊んでいるときに、危険を感じたりヒヤッとした経験がありましたら教えてください。（車輪付きスポーツ用品と関係のない経験を含みます） ※何もない方は「なし」と記入してください。
<input type="text"/>	